

AIKAWA
Sports
Associations
50th
Anniversary

愛川町スポーツ協会

愛川町スポーツ協会 創立50周年記念誌

創立
50
周年
記念誌



- 愛川町陸上競技協会
- 愛川町野球協会
- 愛川町バレーボール協会
- 愛川町剣道協会
- 愛川町卓球協会
- 愛川町ソフトテニス協会
- 愛川町レクリエーション協会
- 愛川町バドミントン協会
- 愛川町テニス協会
- 愛川町バスケットボール協会
- 愛川町ソフトボール協会
- 愛川町サッカー協会
- 愛川町水泳協会
- 愛川町スキー協会
- 愛川町ゴルフ協会
- 愛川町ゲートボール協会
- 愛川町ペタンク協会
- 愛川町ターゲット・バードゴルフ協会
- 愛川町ソフトバレーボール連盟
- 愛川町柔道協会
- 愛川町グラウンド・ゴルフ協会

2025年
愛川町スポーツ協会
創立50周年記念誌

AIKAWA Sports Associations 50th Anniversary

2025

目次

会長挨拶	愛川町スポーツ協会会長	古座野 君 夫	2
祝 辞	愛川町長	小野澤 豊	3
	愛川町議会議長	山 中 正 樹	4
	公益財団法人 神奈川県スポーツ協会会長	岡 田 伸 浩	5
	愛川町教育委員会教育長	佐 藤 照 明	6
スポーツ協会&スポーツ関係のあゆみ・できごと			7
カラーグラビア			
	創立40周年記念事業		12
	あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル		13
	情報誌「Sports Aikawa ～健康な光～」を振り返る		14
加盟団体紹介			
	愛川町陸上競技協会		16
	愛川町野球協会		18
	愛川町バレーボール協会		20
	愛川町剣道協会		22
	愛川町卓球協会		24
	愛川町ソフトテニス協会		26
	愛川町レクリエーション協会		28
	愛川町バドミントン協会		30
	愛川町テニス協会		32
	愛川町バスケットボール協会		34
	愛川町ソフトボール協会		36
	愛川町サッカー協会		38
	愛川町水泳協会		40
	愛川町スキー協会		42
	愛川町ゴルフ協会		44
	愛川町ゲートボール協会		46
	愛川町ペタンク協会		48
	愛川町ターゲット・バードゴルフ協会		50
	愛川町ソフトバレーボール連盟		52
	愛川町柔道協会		54
	愛川町グラウンド・ゴルフ協会		56
愛川町スポーツ協会表彰受賞者			58
愛川町教育委員会表彰受賞者			60
愛川町スポーツ協会歴代役員名簿			62
愛川町スポーツ協会役員名簿（令和6年4月1日～令和8年3月31日）			68
愛川町スポーツ協会規約			69
町民みなスポーツの町宣言			70



スポーツ協会創立50周年記念誌発刊のことば

愛川町スポーツ協会会長
古座野 君 夫

当協会は、1975年（昭和50年）12月に11種目協会で設立して以来、行政や関係諸団体、また町民の皆様のご理解とご協力に支えられ、ここに半世紀という大きな節目を迎え、21種目協会の加盟のもとで記念誌が発刊できますことは、歴代役員をはじめ、長きに渡りご尽力いただいた会員皆様方のお力添えの賜物であり、心から感謝申し上げます。

当協会の歩みを振り返りますと、町民の健康づくりや青少年の健全育成など、競技や地域、世代などの枠組みを超え、人と人とを結ぶ大切な役割を果たしてきました。

一方で、近年は少子高齢化をはじめ、スポーツや余暇活動における価値観の多様化により、競技者や指導者、審判員など、各種目協会を支える人材が減少していることが課題となっています。

こうした中、私が会長に就任した2020年のことを思い出しますと、コロナ禍において多くの大会が中止を余儀なくされ、スポーツ施設の利用も制限された状況において、町のスポーツの灯を絶やさぬよう、皆で協力し、感染症対策を行いながら活動を続けられた各種目協会の皆様の姿は、スポーツが持つ「チームワーク」や「フェアプレー」の大切さを、改めて町民に示してくれたものと思います。

当協会といたしましては、時代の変化

に応じた持続可能な活動が展開できるよう、様々な可能性を模索しつつ、各種運営に当たっていきたくと考えています。

平成元年（1989年）4月「町民みなスポーツの町」を宣言した愛川町では、スポーツの環境整備に力を注いでいただき、第1号公園、田代運動公園、三増公園に代表される町内のスポーツ施設は、町の宝となっています。さらに、「町一周駅伝競走大会」や「あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」など、町民が参加するスポーツイベントが開催されているほか、各種目協会やスポーツ少年団、部活動などにおける地道な活動を通し、関東、全国大会への出場、またプロとして大舞台で活躍する選手が生まれておりますことは、青少年のスポーツへの関心を高め、裾野を広げる大きな役割を担っています。これからも、子どもたちが様々なスポーツに触れ、楽しむ機会を広げていくことを大切に、次代を担う人材を育てて参ります。

結びに、愛川町スポーツ協会創立50周年記念誌発刊にあたり、愛川町長、愛川町議会議長、公益財団法人神奈川県スポーツ協会会長、愛川町教育委員会教育長の皆様には祝辞を寄せていただきましたこと深く感謝を申し上げます。

今後も変わらぬご支援、ご指導をお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。



スポーツ協会創立50周年を祝して

愛川町長
小野澤 豊

愛川町スポーツ協会が創立50周年という記念すべき年を迎えられ、ここに記念誌が発刊されますことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会は昭和50年12月、スポーツをこよなく愛する多くの人々の期待の下、11種目の団体によって設立されて以来、地域におけるスポーツの普及や振興に尽力され、現在では21団体を擁するまでに大きく発展されました。半世紀にわたるその歩みは、まさに町民皆さんにスポーツの楽しさを伝え、健康づくりを支えてこられた輝かしい歴史であり、今日の御隆盛を築かれた歴代役員をはじめ関係者各位に深く敬意を表します。

また、近年では、コロナ禍という未曾有の困難に立ち向かい、感染症対策を施した上でスポーツ活動の継続に御尽力をいただきましたことに、衷心より感謝申し上げます。

現在、人口減少や少子高齢化など、地域スポーツを取り巻く環境が大きな転換期を迎える中であって、こうした長い歴史に育まれた貴協会の知見や経験が、新

たな形で活かされていくものと確信しております。

町では平成元年に「町民みなスポーツの町」を宣言し、田代運動公園、三増公園を開設するなど、誰もがスポーツに親しめる環境整備を進め、令和に移ってからは、多様なニーズに応えるべく、田代運動公園にはスケートパークを、第2号公園にはバスケットボールコートを設置し、本年7月には、第1号公園に人工芝の多目的広場をオープンするなど、施設の充実に努めてきたところでございます。

スポーツは、世代を超えて人と人をつなぎ、心と体の健康を育む原動力であります。今後も貴協会と連携を深めながら「スポーツの町」にふさわしい町づくりに取り組んでまいりますので、相変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。



スポーツ協会創立50周年を祝して

愛川町議会議長

山 中 正 樹

愛川町スポーツ協会が創立50周年の節目を迎えられ、ここに記念誌が発行されますことは誠に意義深いことであり、心からお祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和から平成、そして令和へと移り変わる時の中で、50年の長きにわたり、スポーツを通じて町民の健康増進をはじめ地域間や世代間の交流を深めるとともに、健康で明るく元気なまちづくりに大きく貢献されておりますこと、心から敬意を表するものであります。

また、地域の絆を育み、世代を超えて人々をつなぐスポーツの力は、私たちの町の誇りでもあり、子どもたちから高齢の方々まで、すべての町民が笑顔でスポーツに親しめる環境づくりを支えてこられた貴協会の取り組みは、私たち議会にとっても大変心強く感じております。

こうして着実に発展をされましたことは、歴代の会長をはじめ役員の皆様、そして会員の皆様が様々な課題に真摯に向き合い、創意と工夫により献身的なご尽

力をされた賜物と深く感謝を申し上げる次第であります。

ご案内のとおり、今年は町政70周年の節目の年でもあります。今日まで先人たちが築き上げてきた歴史や文化などに思いを寄せ感謝するとともに、「町民みなスポーツの町宣言」のもと、町議会といたしましても、町当局と一丸となって、多様化する住民ニーズを積極的に受け止めながら、更なる生涯スポーツの振興と多文化共生の推進に努めてまいり所存でございます。

こうした中、貴協会の存在は誠に大きく、創立50周年を契機にさらなる団結をされ、各種スポーツ事業が町民生活の中に定着し、誰もが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツを実践できる生涯スポーツ社会が実現されますことをご期待申し上げます。

結びに、愛川町スポーツ協会の限りないご発展と会員皆様のご活躍を祈念申し上げ、町議会を代表してのお祝いの言葉といたします。



愛川町スポーツ協会創立50周年を祝して

公益財団法人 神奈川県スポーツ協会会長

岡 田 伸 浩

このたび、愛川町スポーツ協会が創立50周年という節目を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

ここに貴協会の設立以来半世紀にわたる貴重な歴史と、その輝かしい活動を綴る記念誌が発刊されますことは、誠に意義深いことであります。

半世紀にわたる歩みは、単なる競技の枠を超え、町民が生涯を通してスポーツに親しみ、健康で生き生きと暮らせる町づくりを目指すことを理念とした「町民みなスポーツの町宣言」、「愛川健康のまち宣言」のもと、町との連携を図り、健康づくりを推進してまいりました。

特に「あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」、「町一周駅伝」などの名物イベントの運営に携わり、スポーツを通じた地域コミュニティの絆を深めてきたことでしょう。

改めて、長きにわたり地域に根差し、今日の隆盛を築いてこられました関係各位のご尽力に対し、心から敬意を表します。

さて、2020年の所謂「コロナ禍」では、未知なる感染症への対策として私たちの生活は大きく制限されることとなり、こ

の期間中の身体活動の制限による心身の不調、子どもの体力低下など、問題が浮き彫りになりました。コロナが終息し日常に戻った今、改めて、スポーツが私たちの生活や社会に活力を与える重要な価値があることを再認識することができました。

現在、日本のスポーツ環境は変革期を迎えております。特に地域スポーツにおける皆様方の役割は今後大きな責任を担ってこることが予想されます。学校部活動の地域連携・地域移行という課題についても、学校と地域社会との関わり、とりわけスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの役割も増してきます。

ここに、貴町の町ぐるみの活動こそが、地域スポーツの発展という今後のあるべき姿であり、そして、未来を担う子どもたちに夢や希望を届けることに繋がると確信しております。

結びに、創立50周年を契機に愛川町スポーツ協会がますます充実・発展されますことと、関係各位のご活躍を心から祈念いたしまして発刊に寄せる言葉とさせていただきます。



愛川町スポーツ協会創立50周年を祝して

愛川町教育委員会教育長

佐藤 照明

このたび、愛川町スポーツ協会が創立50周年という大きな節目を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

昭和50年の創立以来、歴代役員の方々や関係者の皆様の御尽力によりまして協会が発展され、地域に根ざしたスポーツ活動の中核として、青少年の健全育成はもとより、生涯スポーツの推進や町民の健康づくり・いきがいに多大なる御尽力をいただいておりますことに対しまして、深く敬意を表するとともに厚く感謝いたします。

現在加盟協会は21種目、総会員数約2,000名とお聞きしております。貴協会の役員の皆様が実行委員会のメンバーとなり、隔年で開催する「あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」は、多彩な種目をとおして、スポーツの楽しさを体感できる場として、子どもから高齢者まで多くの町民が参加されています。また、新年恒例行事である「町一周駅伝競走大会」では、多くの会員の皆様に、監察・走路員として御協力をいただき、大会運営を支えていただいております。

こうした行事は、スポーツの魅力を伝えるだけでなく、世代や立場を超えた交流の機会となり、地域のつながりを育む貴重な場ともなっています。

また近年、学校における部活動の地域移行が進められる中で、教育現場と地域の連携がより一層求められています。愛川町でも中学校の部活動において、地域のスポーツ団体や指導者の協力を得ながら、持続可能な部活動のあり方を検討しているところです。スポーツ協会の皆様にも、子どもたちの健やかな成長のために、御理解と御協力をいただいていることに、深く感謝申し上げます。

町教育委員会といたしましても、今後ますますスポーツを通じた地域との連携を深め、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを進めてまいります。

50年の歩みを誇りに、さらなる飛躍を遂げられますよう、貴協会の今後の御発展と関係者皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

スポーツ協会&スポーツ関係のあゆみ・できごと

昭和50年（1975年）

- 12.19 愛川町体育協会設立 11種目協会加盟
陸上競技協会・野球協会・バレーボール協会・剣友会・卓球協会・庭球協会・レクリエーション協会・バドミントン協会・テニスクラブ・バスケットボール協会・山岳会

昭和51年（1976年）

() 内はオリンピック獲得メダル数

- 2 第12回インスブルック冬季オリンピック大会 (0)
7 第21回モントリオールオリンピック大会 (金9、銀6、銅10)
12.2 小野三嗣先生『健康と体力を自らの手で』講演会開催

昭和52年（1977年）

- 4.27 小島菊代先生『スポーツよもやまばなし』講演会開催
11.13 小山勉監督（フジフィルム）バレーボール教室開催

昭和53年（1978年）

- 山岳会脱退（10種目協会）
5.1 情報誌「健康な光」創刊号発行
11.12 小野三嗣先生『誰のための体力づくりか』講演会開催

昭和54年（1979年）

- 2.13～ 役員視察研修会（熱海市）
4.27 ソフトボール協会加盟（11種目協会）
12.2 第1回内陸工業団地一周駅伝競走大会

昭和55年（1980年）

- 1.15 第25回愛川町一周駅伝競走大会（この大会から行政区対抗のみとなる）
2 第13回レークプラシッド冬季オリンピック大会（銀1）
4.6～ 役員視察研修会（小田原市陸上競技場・庭球場の視察）他
7 中津工業団地第1号公園に児童プールがオープン
三増公園野球場に夜間照明施設が完成
11.23 第1回県央地区スポーツフェスティバルに参加

昭和56年（1981年）

- 2.28～ 役員視察研修会（秦野市中央運動公園の視察）他
3.15 馬飼野正治先生『地域スポーツの振興について』講演会開催
4.21 サッカー協会加盟（12種目協会）
11.15 第2回県央地区スポーツフェスティバルに参加

昭和57年（1982年）

- 4.10～ 役員視察研修会（MOA美術館の視察）他
4.21 水泳協会加盟（13種目協会）
8 第1号公園庭球場照明施設点灯式が行われる

昭和58年（1983年）

- 4.9～ 役員視察研修会（西湘地区体育センターの視察）他
10.10 北山清五郎先生『東京オリンピック放送裏話』講演会開催

昭和59年（1984年）

- 2.18～ 役員視察研修会（相模原市総合体育館の視察）他
2 第14回サラエボ冬季オリンピック大会（銀1）
7 第23回ロサンゼルスオリンピック大会（金10、銀8、銅14）

昭和60年（1985年）

- 1 第1回県高等学校女子駅伝大会が内陸工業団地で行われる
- 2.23～ 役員視察研修会（熱海市）
- 4.25 スキー協会加盟（14種目協会）
- 5.12 新町発足30周年記念愛川町民体育大会に協力
- 7.23 坂本体育館・プールがオープン
- 8.18 ふるさと愛川国際青年の年のつどいに参加
- 11.4 バレーボール協会創立20周年記念式典実施

昭和61年（1986年）

- 1.21 山梨県東山梨地区町村体育協会連絡協議会研修来庁
- 3.1～ 役員視察研修会（熱海市）
- 3 中津工業団地第1号公園野球場に夜間照明施設が完成
- 4.1 坂本運動場がオープン
- 4.24 柔道協会（旧）加盟（15種目協会）
- 5.3 町内綱引き大会開催（愛川町体育協会創立10周年記念）
- 6.1 志田運動場がオープン

昭和62年（1987年）

- 2.5 長野県立科町と友好都市締結
- 2.22 野球協会創立40周年記念式典実施
- 2.28 役員視察研修会（第1号公園体育館の視察）他
- 3.15 第1号公園体育館竣工式
- 4.1 第1号公園体育館がオープン
- 6.27 立科町体育協会との交流（施設見学等）

昭和63年（1988年）

- 2 第15回カルガリー冬季オリンピック大会（銅1）
- 3.12～ 役員視察研修会（熱海市）
- 9 第24回ソウルオリンピック大会（金4、銀3、銅7）
- 11.20 ソフトボール協会創立10周年記念式典実施

平成元年（1989年）

- 1.8 元号が「平成」に改まる
- 3.4～ 役員視察研修会（熱海市）
- 4.8 田代運動公園野球場・庭球場オープン
- // 「町民みなスポーツの町宣言」を制定
- 10.22 町民みなスポーツの町宣言記念愛川町民体育大会へ協力参加

平成2年（1990年）

- 3.10～ 役員視察研修会（厚木市荻野運動公園の視察）他
- 4.27 ゴルフ協会加盟（16種目協会）
- 4 町民の人口4万人を超える
- 7.1 田代運動公園プール兼アイススケート場オープン

平成3年（1991年）

- 3.16～ 役員視察研修会（海老名運動公園を視察）他
- 5.2 ゲートボール協会加盟（17種目協会）
- 7.1 三増プールがオープン

平成4年（1992年）

- 2 第16回アルベールビル冬季オリンピック大会（金1、銀2、銅4）
- 3.14～ 役員視察研修会（山梨県石和町）
- 7 第25回バルセロナオリンピック大会（金3、銀8、銅11）
- 10.5～ 山形県べに花国体視察
- 11.8 バドミントン協会創立20周年記念式典実施

平成5年（1993年）

- 3.13 役員会視察研修会（山梨県石和町）
- 11.27 大河内保雪先生のスポーツ指導者研修会開催

平成6年 (1994年)

- 2 第17回リレハンメル冬季オリンピック大会 (金1、銀2、銅2)
- 3.5 役員視察研修会 (厚木市荻野運動公園体育館の視察) 他
- 4.1 田代運動公園ソフトボール場・ゲートボール場オープン
- 5.12 '94スポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
- 10.29～ 愛知県わかしゃち国体視察
- 12.4 佐藤昇先生のスポーツ指導者講習会開催

平成7年 (1995年)

- 4.27 ペタンク協会、ターゲット・バードゴルフ協会加盟 (19種目協会)
- 10.10 '95スポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
- 10.14～ 福島県ふくしま国体視察
- 11.19 バレーボール協会創立30周年記念式典実施

平成8年 (1996年)

- 4.22 三増公園陸上競技場がオープン
- 5.27 ソフトバレーボール連盟加盟 (20種目協会)
- 7 第26回アトランタオリンピック大会 (金3、銀6、銅5)
- 9.28 愛川町体育協会創立20周年記念事業開催
- 10.10 '96スポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
- 10.12～ 広島国体フェンシング競技及び会場地視察 (福山市)
- 11.24 町民みなスポーツ推進事業
「神尾 米 選手のテニスクリニック」及び「伊藤繁雄さんの卓球教室」開催
- 12.14～ 第49回全日本フェンシング選手権大会視察 (大阪府河南町)

平成9年 (1997年)

- 10.10 '97スポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
- 12.14～ 第53回国民体育大会フェンシング競技リハーサル大会 (第50回全日本フェンシング選手権大会) の開催

平成10年 (1998年)

- 2 第18回長野冬季オリンピック大会 (金5、銀1、銅10)
- 3.22 役員研修会 (相模原市総合水泳場視察)
- 9.15・20 '98あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
- 10.17 第53回国民体育大会炬火リレー実施
- 10.15～ 第53回国民体育大会秋季大会フェンシング競技会開催
- 11.29 愛川町剣友会創立30周年記念式典開催

平成11年 (1999年)

- 6.20 '99あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催

平成12年 (2000年)

- 9 第27回シドニーオリンピック大会 (金5、銀8、銅5)
- 10.9・10 '00あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催

平成13年 (2001年)

- 5.28 山岳協会加盟 (21種目協会)
- 6.17 2001あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催

平成14年 (2002年)

- 2 第19回ソルトレークシティ冬季オリンピック大会 (銀1、銅1)
- 7.28 施設見学会 (厚木市・清川村体育施設)
- 10.13 2002あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催

平成15年 (2003年)

- 5.18 2003あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催

平成16年 (2004年)

- 8 第28回アテネオリンピック大会 (金16、銀9、銅12)
- 10.10 2004あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催

平成17年 (2005年)	
6.18	特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催
8.28	新町発足50周年記念サマーフェスティバル開催
11.6	2005あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
平成18年 (2006年)	
2	第20回トリノオリンピック冬季大会 (金1)
11.12	愛川町体育協会創立30周年記念事業開催
平成19年 (2007年)	
5.14	空手道協会加盟 (22種目協会)
11.11	2007あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
平成20年 (2008年)	
8	第29回北京オリンピック大会 (金9、銀6、銅10)
平成21年 (2009年)	
1.11	町民みなスポーツの町宣言制定20周年記念事業
10.11	2009あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
平成22年 (2010年)	
2	第21回バンクーバーオリンピック冬季大会 (銀3、銅2)
5.24	柔道協会 (旧) 脱退 (21種目協会)
平成23年 (2011年)	
10.10	2011あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
平成24年 (2012年)	
5.21	柔道協会 (新) 加盟 (22種目協会)
7	第30回ロンドンオリンピック大会 (金7、銀14、銅17)
平成25年 (2013年)	
10.13	2013あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
平成26年 (2014年)	
2	第22回ソチオリンピック冬季大会 (金1、銀4、銅3)
12.13	かながわアスリートネットワーク協働事業 (陸上競技教室)
平成27年 (2015年)	
3.1	神奈川県体育協会創立75周年記念事業功労者表彰受賞 (7名)
5.10	バレーボール協会創立50周年記念大会、式典開催
8.23	新町発足60周年記念サマーフェスティバル開催
10.11	2015あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
11.8	ソフトバレーボール連盟創立20周年記念式典
11.15	愛川町体育協会創立40周年記念事業開催
平成28年 (2016年)	
8	第31回リオデジャネイロオリンピック大会 (金12、銀8、銅21)
11.6	ウォーキングセミナー開催 (高垣茂子先生)
11.19	ジュニアアスリート育成トレーニング教室開催 (中島靖弘先生)
平成29年 (2017年)	
5.15	空手道協会脱退 (21種目協会)
9.30	ジュニアアスリート育成トレーニング教室開催 (足立原和宏先生)
10.8	2017あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催
10.28	ジュニアアスリート育成トレーニング教室開催 (足立原和宏先生)
11.19	剣道協会創立50周年記念祝賀会
平成30年 (2018年)	
2	第23回平昌オリンピック冬季大会 (金4、銀5、銅4)
10.25	愛川町がJリーグ「SC相模原」のホームタウンとなる

平成31年・令和元年 (2019年)

- 1.13 町民みなスポーツの町宣言制定30周年記念事業
 2 「わくわくキッズチャレンジ!」「エンジョイ♪スポーツセミナー」開催
 (富田裕一郎先生)
 5.1 元号が「令和」に改まる
 10.13 2019あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル 台風で中止

令和2年 (2020年)

- 1.12 Towards2020 (2020年に向けて) スポーツ推進事業開催
 2.22 「ラグビー体験会」の開催 (金城憲人先生他)
 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が広がる
 3.4 町立スポーツ施設が休館 (一部を除き5月31日まで)
 6.1 町立スポーツ施設が再開 (人数制限やチェックリストを導入)
 7~8 町営プール中止
 10.11 2020あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル 中止

令和3年 (2021年)

- 1.12 町立スポーツ施設が休館 (3月21日まで)
 2.11 田代運動公園スケートパークがオープン
 3.22 町立スポーツ施設が再開
 5.24 当協会の名称を「愛川町スポーツ協会」に変更
 7~8 町営プール中止
 7~8 第32回東京オリンピック大会 (金27、銀14、銅17)
 8.7 町立スポーツ施設 (屋内) が休館 (9月30日まで)
 8.13 東京2020パラリンピック 採火セレモニー開催 (県立あいかわ公園・風の丘)
 10.1 町立スポーツ施設 (屋内) が再開
 10.10 2021あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル 中止

令和4年 (2022年)

- 2 第24回北京オリンピック冬季大会 (金3、銀7、銅8)
 7~8 町営プールが3年ぶりにオープン
 10.1 バドミントン協会創立50周年記念式典
 10.9 2022あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル 5年ぶりに開催
 11.12~ ねんりんピックかながわに出場
 (野球、剣道、ソフトテニス、テニス、ゴルフ、ペタンク、グラウンド・ゴルフ)

令和5年 (2023年)

- 5.15 グラウンド・ゴルフ協会加盟 (22種目協会)
 10.8 「オリンピックが愛川にやって来る☆鶴見虹子先生の体操教室」開催 (かながわアスリートネットワーク協同事業)
 3.24 「バックアスリート・中田崇志が語る! パラスポーツの魅力」開催

令和6年 (2024年)

- 5.20 山岳協会脱退 (21種目協会)
 7~8 第33回パリオリンピック大会 (金20、銀12、銅13)
 10.5 第2号公園バスケットコートがオープン
 10.13 2024あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル開催

令和7年 (2025年)

- 1.26 「オリンピック・森久子さんのバドミントン教室」開催
 2.15 「パラリンピアン・伊藤楨紀選手のパラ卓球体験」開催
 7.2 第1号公園多目的広場がオープン
 9.14 「デフサッカー体験交流会」開催 (吉野勇樹選手)
 10.13 「オリンピック・田中和仁先生の体操教室」開催 (かながわアスリートネットワーク協同事業)
 11.16 愛川町スポーツ協会創立50周年記念事業開催予定

Memories

創立40周年記念事業 (2015.11.15 愛川町文化会館ホール)

祝典演奏 東海大学吹奏楽研究会



記念式典



会長挨拶



スポーツの町宣言唱和



感謝状贈呈 半谷元会長 (左) 大成元会長 (右)

記念講演会



「心に響くコミュニケーション ペップトーク」
～やる気を引き出す魔法の言葉～ 岩崎 由純 先生



「今を受け入れ、今を越える。」
～出会い、そして挑戦～ 土田 和歌子 先生



創立40周年記念事業

AIKAWA Sports Associations 50th Anniversary
あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル
 (隔年開催 2019年は台風で中止、2020～2021年はコロナ禍で中止)

2015

あいちゃんインディアカ



ボールエクササイズ



三段跳び 長谷川大悟選手



赤ちゃんダービー



2017

体操金メダリスト 白井健三さん



バドミントン 小椋久美子さん



2022

元プロ野球選手 村中恭兵さん



2号公園でのバスケットボール教室



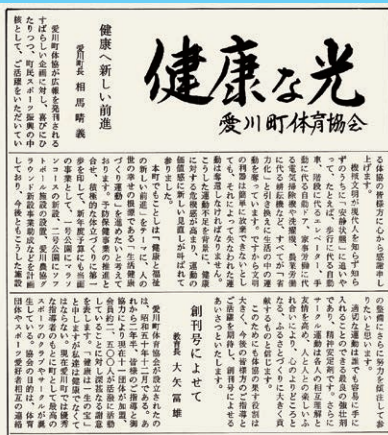
2024

あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル

Information magazine

情報誌「Sports Aikawa ～健康な光～」を振り返る

創刊号/1978年（昭和53）5月



↑創刊時のタイトルは「健康な光」
相馬町長（当時）、大矢富雄教育長（当時）の寄稿文を掲載。
このほか、吉川好夫会長（当時）からの挨拶、事業計画や予算、各加盟種目協会の名簿等を掲載。

第3号/1980年（昭和55）3月



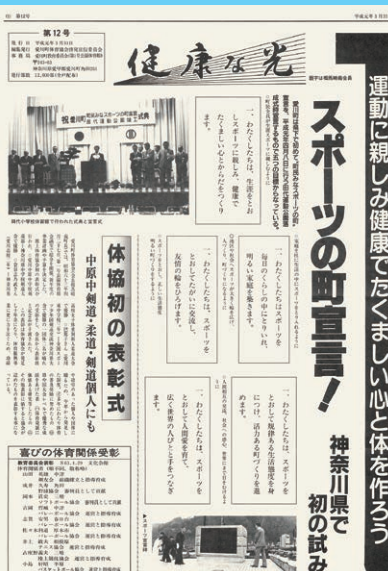
↑特集は「運動施設の紹介」
多くの方が使えるよう、4月から使用時間が4時間単位から2時間単位に短縮されることを伝えている。
半原にあった農協・県警グラウンドなど、懐かしいスポーツ施設も紹介。

第10号/1987年（昭和62）3月



↑特集は「第1号公園体育館完成」
落成記念イベントでは、日本体育大学の体操選手による模範演技等が行われた。4月以降も種目協会主催など、様々な記念イベントが行われることを伝えている。

第12号/1989年（平成元）3月



↑特集は「スポーツの町宣言」。
1989年（平成元）4月8日に田代運動公園落成式時に宣言するもので、神奈川県で初の試みと伝えている。

第13号/1990年（平成2）3月



↑特集は「田代運動公園完成間近」
7月にプール、11月にアイススケート場ができ、「県下で初となる総合運動公園が誕生する」と伝えている。

アンケート結果である「活発なスポーツ活動」ハード・ソフト両面共充実

経験した種目	あった良い施設
ソフトボール	室内（温含水）プール
バスケットボール	室内（温含水）プール
サッカー	室内（温含水）プール
野球	室内（温含水）プール
テニス	室内（温含水）プール
バドミントン	室内（温含水）プール
卓球	室内（温含水）プール
水泳	室内（温含水）プール
その他	室内（温含水）プール

スポーツの出来ない理由

活動状況	出来ない理由
毎日	設備が古い
週に1回	設備が古い
週に2回	設備が古い
週に3回	設備が古い
週に4回	設備が古い
週に5回	設備が古い
週に6回	設備が古い
週に7回	設備が古い

↑2面は調査研究委員会のスポーツレクリエーションのアンケート結果。あったら良い施設、経験した種目、スポーツのできない理由などの回答結果を分析し、「町内スポーツ施設ハード面は、十分にあると考えている人が多い事が分かる」と分析している。
ちなみに「あったら良い施設」1位は「室内（温含水）プール」。

情報誌を振り返る

愛川町陸上競技協会

これまでの歩み

本協会は、神奈川陸上競技協会の下部組織に属し、「愛甲郡陸上競技協会」として「日本陸上競技連盟」に登録され、日々の活動を行っており、「愛川町体育協会」が昭和50年12月に発足したことに伴い「愛川町陸上競技協会」の名称のもと加入したいきさつがある。協会の発足は、神奈川陸上競技協会誕生の折「愛甲郡陸上競技協会」として加盟した昭和10年まで遡ることになる。

当時の状況は、県体育史の紙面に、旧中津村の青年を中心とした本郡の選手たちの華々しい活躍ぶりが紹介されている。

終戦後の昭和21年県陸協が再建されると同時に、本郡も率先して加盟をし現在に至る。

昭和30～31年の町村合併により厚木市が誕生、「厚木陸協」として分離、発足したことに伴い、組織自体は縮小のやむなき状況を迎えるも、県総体への組織的参加は途絶えることなく好成績を積み上げ、青年大会は県を代表して全国大会へ出場する選手を、また国体選手を何年も輩出し、就中、市町村対抗による「かながわ駅伝」においては町村の部における幾たびの優勝を含め常に上位を占めており、戦争により活動が一時中断したとはいえ、80年近い歴史を持つ年輪の重みを胸に刻み、活動をしている協会である。

近年の状況

日本陸連三種公認の三増公園陸上競技場が平成8年4月にオープンし、世界陸上等の国際大会などの審判経験者を中心に、多くの公認審判員を擁する本協会が主催する競技会の記録が、日本陸連の公認記録となることとなり、愛川町で日本記録が誕生する可能性を持

つこととなった意義は大きいものがあった。
※三増公園陸上競技場は平成28年4月20日をもって未公認の競技場となっている。

また、県内近隣の8市2郡による大会を本町の主催で開催した際、町当局と共に大会を立派に果たし得たことも当競技場誕生に負うところが大きい。

そのほか、町総体をはじめ、町一周駅伝競走大会やロードレース大会、年3回の公認記録会や陸上教室等の日々の活動の拠点としての貢献度は高く、本協会々員のレベルアップに寄与していることは言うまでもなく、全日本中学校陸上競技大会出場、県選手権優勝、名古屋女子国際マラソン〔2位〕、都道府県対抗男子・女子駅伝、東京箱根間往復駅伝、ニューイヤー駅伝、全日本大学女子駅伝、横浜国際女子駅伝、日本選手権への出場、全日本マスターズ上位入賞等全国レベルの大会出場・入賞者を輩出している。

こうした選手の育成には、競技場誕生のほかに、通称「リトル」として親しまれている「愛川陸上リトルスクール」の開講も大きく貢献しており、本協会普及部主導のもと平成5年にスタートし、30年以上続く事業となった。開講当初は小学生5、6年生を対象としていたが、現在は1年生から6年生までを対象を広げており、陸上競技の動きづくりや楽しさ、礼儀そして友達づくりを目標に、本協会々員や教職関係者有志によるスタッフが指導に当たっている。参加児童の中には、これまでに県小学生陸上運動選手権大会へ出場した実績もあり、協会主催の大会出場や練習会等地道に活動を継続している。それに加え、年間の活動において、選手レベルを維持するための「強化育成事業」を推進し、引き続き選手層の育成に力を入れている。

一方、近年における競技人口の減少や審判などの競技関係者の高齢化、担い手不足に対する課題が浮上しつつあり、こうした状況を踏まえて、競技の普及・継続のためにも競技の統合や見直し、また、新たな取り組みを模索している状況におかれている。

これから

前述のように、幾多の優秀選手を輩出し若い選手が育っていることは、本町陸上競技関係者が誇りとしている立派な陸上競技場がオープンし、「愛川陸上リトルスクール」等地道な活動を育む環境が整った成果に他ならない。

今後も、この陸上競技場を一人でも多くの人が活用出来るよう「陸上競技大会」、「陸上教

室」、「強化育成事業」の充実を図るとともに、陸上競技に親しみ、関わり続けていけるよう陸上競技の普及に努めていきたい。

課題となっている審判などの競技関係者の減少は避けては通れない状況にあり、今後は陸上競技と関わりがなかった人を募集するなど、やりがいのある活動機会を提供しつつ、陸上競技全体の活性化を図り、その結果として持続可能な協会の発展につなげていく。

【歴代会長】

初代会長	吉川 好夫	昭和32年～昭和51年
2代会長	今井 柳一	昭和51年～昭和55年
3代会長	熊坂 実	昭和55年～平成 3年
4代会長	小島 一成	平成 3年～平成13年
5代会長	山口 秀雄	平成13年～平成23年
6代会長	鈴木 行夫	平成23年～現在



第78回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会（2024年2月11日丹沢湖にて開催）愛川町選手団は、2区間で区間賞を獲得するなど、若い世代の選手が活躍し、43年ぶりとなる総合7位入賞、町村の部では2連覇の成績を残した。

愛川町野球協会

設立年月日 昭和21年9月
会 員 数 465人

愛川町スポーツ協会が、ここに創立50周年を迎えられたことを心からお祝いを申し上げます。

創立50周年記念誌を発刊に伴い、愛川町野球協会の紹介をいたします。

愛川町野球協会は全日本軟式野球連盟、神奈川県野球連盟に加盟し高校野球、中学校野球、学童部に対し協力体制をとっている軟式野球団体です。

設立は終戦後の世相が混乱している昭和21年9月に、青少年は夢も希望もないような状況下で、放っておけばどこへ行ってしまかわからない若者が多く、非行防止と健全なる体育向上にと、荒廃した郷土の半原で青少年の仲間を集め野球チームを結成し、野球協会を発足させました。

その当時は、食料はもちろん物資不足で、ユニホームはシャツか軍服、用具のスパイクは短靴を利用しての手作りのものや地下足袋、グローブは布で作った自家製のものがほとんどで、戦前に使用していた皮製品の用具は非常に貴重で大切にしました。

昭和22年4月に協会が主催する第1回野球大会を開催しました。

第1回大会の優勝チームは「田代ライオンズ」でありました。

この第1回大会を契機に、各地区にチームを作る気運が高まり、年々チーム数が増大し、聞くところによると、大会当初は半原小学校の校庭や田代小学校の校庭が会場として使われた時代もあったそうです。

昭和40年当協会の結成当時から念願でありました神奈川県野球連盟への加入が認められ、県連愛川支部として承認された。このこ

とは、対外的にも一人前の組織として認められたことであり、記念すべき日となりました。

内陸工業団地の完成により、登録数も急激に増加し、強豪チームが増え、野球レベルもそれにつれて向上しました。

昭和41年には、協会設立20周年を迎え成人となった記念式典を実施しました。

昭和50年には、町体育協会の発足と同時に本協会も加入しました。昭和54年5月学童部が発足しました。平成8年には、協会創立50周年迎え記念式典を挙行致しました。そして、平成18年度の春季野球大会の中で創立60周年にあたり、協会運営に功労のあった役員、選手の表彰を行いました。こうした協会が歩んできました実績と平成元年に「町民みなスポーツの町」を宣言したことにより町民の関心は高まりをみました。

残念ながら、社会構造の変化や少子化の影響を受けここ数年野球人口の減少傾向もありチームが減少しつつあります。

来年度は設立80周年を迎えますが、設立時の野球を通じての人間づくりの精神を基本にスポーツ協会の加盟団体として野球を通してスポーツの振興に寄与してまいる所存です。

令和7年度の協会登録数は一般の部では、Aクラス3チーム、Bクラス6チーム、Cクラス4チームの13チームが、壮年では9チーム、そして学童部チームは4チームが登録されて、他に役員、審判員により毎年2回、春季大会(町総合体育大会)秋季大会(町長杯)を開催しております。各大会の優勝・準優勝チームは上部大会の天皇賜杯、高松宮賜杯、県知事杯国民スポーツ大会予選の県大会に出場し活躍しております。

町スポーツ協会のご援助や諸先輩を始め関係者の熱意あるご指導の下、各クラス別の県大会に出場し優秀な成績を残すことができ歴

史を積み重ねてきました。関係者の皆さんに
衷心から感謝申し上げます。

終わりに、町スポーツ協会のこれまでの業
績に深甚なる敬意を表するとともに、貴協会
のますますのご発展を心からご祈念申し上げ
ます。

【歴代会長】

昭和21年 9月～昭和22年12月	河内 正光
昭和23年 1月～昭和23年12月	小島 盛次
昭和24年 1月～昭和26年12月	小島 秀吉
昭和27年 1月～昭和38年12月	大貫 善正
昭和39年 1月～昭和62年12月	新井 昭平
昭和63年 1月～平成 8年12月	小島 鎮夫
平成 9年 1月～平成10年12月	河内 安正
平成11年 1月～平成14年12月	山口 忠雄
平成15年 1月～平成18年12月	成井 久寿
平成19年 1月～平成22年12月	半谷周一郎
平成23年 1月～平成23年12月	木藤 安治
平成24年 1月～現在	古座野君夫



愛川町バレーボール協会

バレーボール協会の紹介

愛川町スポーツ協会創立50周年おめでとうございます。

当協会は、全日本バレーボール女子が「東洋の魔女」と呼ばれ大活躍し日本中が、TV中継に湧いた東京オリンピック(1回目)開催から2年後の昭和41年4月に創立されました。

多くの諸先輩方の努力のお陰で今日迄継続運営され、59年目を迎える事が出来ました。

創立当時は、オリンピックの影響もあり大バレーボールブームとなり、町内各行政区ごとにそれぞれのチームが存在する程の、人気スポーツで試合等は会場を分けて開催していた様な状態でした。

時代が変わり、現在ではバレーボール人口の大氷河期となり、協会登録チーム数も当時の半数程に減少し、チーム存続にかなり苦慮しています。

その様な中、バレーボール大好きな仲間達

が協会を継続させよう、盛り上げようと各チーム一丸となってそれぞれのチーム練習に励んでいます。

現役員は会長、庶務、会計、理事で運営しています。

年間の大会運営は、春季大会、愛川町総合体育大会、リーグ選、会長杯、オープン大会、秋季大会の6大会を開催しています。

6大会のうち、春季、オープン、秋季大会については、近隣の町外チームへも参加を呼びかけ、大変盛り上がり活気ある楽しい大会となっています。

その他に、毎年3月には、協会主催で近隣の中学校からも参加していただき、中学校バレーボール大会を開催しています。

こちらの大会も40年と歴史有る大会となっており、大会を通して健全育成に努め、中学校バレーボール大会を支援しています。

最後になりましたが、愛川町スポーツ協会の益々の発展をお祈り申し上げます。



最近の総合体育大会開会式風景と試合画像

今後の抱負

バレーボール 人口減少傾向と、各チームの平均年齢が上昇する中、多くの方にバレーボールを気軽に経験してもらえるレクリエーションや、大人から小学生迄参加してのバレーボール教室等を計画し、それらを通し多くの方にバレーボールに興味を持っていただき、若返りをはかりながら、競技人口を増やして協会をもっともっと盛り上げて行きたいと思えます。

そして今後も、中学生バレーボール大会に協力し継続的な大会となるよう支援していきます。

【歴代会長】

昭和41年 4月～昭和49年 3月	小島 民章
昭和49年 4月～昭和59年 3月	小島 新作
昭和59年 4月～昭和63年 3月	山口 徳治
昭和63年 4月～平成 4年 3月	小島 菊治
平成 4年 4月～平成 7年 3月	吉岡 哲城
平成17年 4月～平成14年 3月	大成 行正
平成14年 4月～平成22年 3月	鈴木 久雄
平成22年 4月～平成24年 3月	加藤 正志
平成24年 4月～平成25年 3月	鈴木 久雄
平成25年 4月～平成29年 3月	梅原 清文
平成29年 4月～現在	古賀 憲一



懐かし画像 1997年11月に立科町のバレーボール親睦大会へ、協会として出向いた時の写真です。



愛川町剣道協会

剣道協会の紹介

本会は、昭和42年に町内の剣道愛好家が集まり愛川町剣友会として発足し、その後町内で少年指導等へ活動範囲を拡げ、平成13年に愛川町剣道協会に改め創立58年に成ります。

現在協会には、一般会員38名、学生会員が77名在籍しております。各地域での少年剣道指導のほか、定例稽古会や夏季稽古会、町内外の各種大会、講習会等へ積極的に参加し、日々の鍛錬を通して、剣道の普及発展に力を注いでいます。少年剣道指導では、少年剣道で育った指導者が中心となってきております。

剣道の歴史は竹刀剣道が考案されて三百有余年になり、平成24年度からは中学校の授業でも武道が正課として取り入れられております。剣道の理念「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」及び、本協会目的の「剣道を通して心身の鍛錬、技術の向上及び人格の高揚に努め、会員相互の親睦を図るとともに剣道の普及発展に寄与し青少年の健全

な育成」のもと、今後も活動を継続して参ります。

◆稽古日

●定例稽古（少年剣道教室・一般）

毎週木曜日 18：30分～（少年）

愛川町第一号公園体育館

19：40分～（一般）

愛川町第一号公園体育館

●青年部稽古

毎週月曜日 19：40分～

愛川町第一号公園体育館

●少年剣道指導場

・愛川剣道教室

月・金 18：00～

愛川町第一号公園体育館

・半原剣道愛好会

火・土 19：00～

半原小学校体育館



集合写真

今後の抱負

剣道の精神：現代社会における意義と次世代への継承

愛川町剣道協会

会長 福岡 孝幸

剣道は、単なる武術ではなく、人間形成の道として、現代社会においても重要な意義を持ち続けています。「礼に始まり礼に終わる」という言葉に象徴されるように、剣道は相手を尊重し、感謝の気持ちを持つことを重視します。稽古を通じて心身を鍛錬し、自己を律する精神を養うことができるのです。

現代社会は、多様化が進み、複雑な課題を抱えています。このような状況下において、剣道は青少年の育成に重要な役割を果たすことが期待されます。礼儀作法や相手を思いやる心を身につけることは、困難に立ち向かう精神力や自己肯定感を高めることに繋がります。

中学校においても剣道は正課として取り入れられ、技術の習得だけでなく、武道の精神や歴史、文化についても学びます。これにより、生徒たちは日本の伝統文化に触れ、自己を成長させることができます。また、剣道を通じて異文化理解や国際交流を深める機会も増えています。

現在、剣道協会の指導者は、少年剣道から育ち、中学校の剣道指導にも携わっていま

す。彼らは剣道の精神や技術を次世代に継承するという使命感を持ち、子供たちの健全な成長を支援し、未来を担う人材を育成することを目指しています。

今後の抱負として、以下の3点を掲げます。

- ・青少年育成の強化：質の高い指導体制を構築し、次世代の剣道家を育成します。
- ・地域社会との連携強化：普及活動を積極的に行い、地域住民の剣道への関心を高めます。
- ・剣道技術の向上：会員相互の切磋琢磨を促し、個々の剣道技術を向上させます。

これらの抱負を実現するために、会員一人ひとりが積極的に活動に参加し、協力し合うことが重要です。剣道の精神を胸に、私たちは次世代へと繋がる道を切り拓いていきます。

【歴代会長】

昭和42年 4月～昭和54年 3月	山田 英雄
昭和54年 4月～昭和62年 3月	市川 武
昭和62年 4月～平成 5年 3月	野村 光治
平成 5年 4月～平成11年 3月	飯田 紀男
平成11年 4月～平成13年 3月	神崎 康久
平成13年 4月～平成17年 3月	渡辺 功治
平成17年 4月～平成25年 3月	佐藤 正平
平成25年 4月～平成27年 3月	柳川 育夫
平成27年 4月～現在	福岡 孝幸



令和6年度 愛川町少年少女剣道大会

愛川町卓球協会

卓球協会の紹介

愛川町卓球協会は昭和45年2月に設立し今年で55年経過致しました。

卓球協会55年の歴史で、大変印象に残っているイベントは、1991年（平成3年）4月24日から5月6日の第41回世界卓球選手権大会に向けた日本卓球協会ナショナルチーム愛川町強化合宿（主催：愛川町・愛川町体育協会、主管：愛川町卓球協会、後援：愛甲商工会）で、開催できたことは有意義であったと思います。男子は伊藤繁雄監督（元世界チャンピオン）、女子は森沢幸子監督（元世界チャンピオン）、コーチ7名、代表選手21名、練習サポート数名の練習を近くで見学出来た事、歓迎イベントで、コーチ陣の方と練習試合が出来た事、全日本トップ選手の模範試合を見る事が出来ました。今思えば、代表選手には高校生

7名と中学生1名が含まれており、当時から若年層の強化に力を入れている事が分かります。（今の代表選手は若年層だけです）

卓球協会の年間予定（令和7年度）

- 愛川町総合体育大会 卓球の部
（4月20日 日曜）
- 神奈川県町村対抗卓球大会参加
（6月29日 日曜 寒川町主催）
- 会長杯大会 団体戦 個人戦
（7月6日 日曜）
- 厚木愛甲中学生卓球大会 団体戦
（9月6日 土曜）
- 秋季大会 団体戦 個人戦
（11月23日 日曜）
- 冬季大会 団体戦 個人戦
（翌年3月 1日 日曜）



令和4年度の卓球教室

今後の抱負

愛川町卓球協会では、毎年の年間予定にそって、行事を行っております。

会員の皆さんの競技力向上を目ざし、同レベルの選手と対戦できるよう、対戦数が多くなるように、ランク別にリーグ戦を実施しております。

又、体育館解放を利用して、練習会を毎週木曜日午後7時30分から2時間、愛川東中学校の卓球室をお借りして行なっています。

参加資格は卓球協会に所属していただきます。対象は中学生以上です。

団体に所属していない方は、スポーツ協会事務局（TEL 046-285-6958）までご相談ください。

やってみたい方は直接会場に来てもOKです。お待ちしております。

【歴代会長】

昭和45年 2月～平成元年 3月	島村 泰宣
平成元年 4月～平成12年 3月	大貫 邦重
平成12年 4月～現在	安富 憲男



令和4年度の卓球教室

愛川町ソフトテニス協会

愛川町スポーツ協会創立50周年おめでとうございます。

ソフトテニス協会の紹介

ソフトテニス協会は1970年4月1日に設立され、2024年度に創立55年を迎えました。当協会の協会員は26名と小規模な団体ではありますが、年齢層は20代から70代と幅広く、世代の垣根を越えた活動をしております。

当協会の基本的な活動方針は、「協会員が楽しんで参加できる活動の推進」、「ソフトテニスを生涯スポーツとして楽しむ活動推進」としてしておりますが、協会員主体ではあるもののスポーツを楽しみたい方々に門戸を広げ、将来的にはソフトテニス人口の増加が達成できるよう、先々を見据えて活動しています。

主な活動

主な年間行事として下記活動を行っています。

- ①ソフトテニス教室：全7回
- ②愛川町総合体育大会：中学生の部、一般・シニアの部
- ③秋季大会
- ④レディース大会
- ⑤中学生新人戦
- ⑥冬季協会合同練習会
- ⑦末武杯争奪戦大会

2022年まで、長野県の佐久市(旧望月町)との交流事業として、8月に我々が訪問する大会が実施されており、11月には佐久市(旧望月町)の方々に来訪いただいて開催していた秋季大会がありましたが、先方の高齢化に伴い交流事業は現在一時休止しております。しか

し、秋季大会自体は愛川町でのテニス愛好者を中心に参加を募り、継続実施しています。また、末武杯争奪戦大会は近隣市町の協会からも参加者を募り盛大に開催しています。愛川町ソフトテニス協会独自のルール(自称：斬新なアイデア)を採用することで、参加される皆様には非常に好評をいただいています。

その他、日本ソフトテニス連盟、神奈川県ソフトテニス連盟、県央ソフトテニス協会の各種大会にも参加をしており、時折、好成績を収めることもあります。

将来を見据えて

現在、少子高齢化に伴い会員数の減少、学校部活動での部員減少や部活自体の消滅など、ネット社会に慣れた人々の団体活動への不参加、などなど、スポーツ愛好者にとって将来を考えると明るい話題が多くは出てきません。我々ソフトテニス協会も例外ではなく、会員の減少に歯止めがきかない状況が続いています。しかし、昨今の部活動の地域移行の一環として中学校に指導者派遣を行っており、これにより将来的なソフトテニス愛好者の増加、協会員の増加に繋がれば、と考えています。

また、年間7回開催しているソフトテニス教室を通じ多くの方々にソフトテニスの楽しさを伝えることで、新たにソフトテニスを始めたいという方を増やす、かつてソフトテニスをやっていたがまた再開したいという方を受け入れる、などの効果を期待しています。愛川町総合体育大会とソフトテニス教室については広報あいかわに情報掲載し、町内に広く呼び掛けることで、参加者増を狙っています。

【歴代会長】

昭和45年 4月～平成 2年 3月	小山田 忠吾
平成 2年 4月～平成 8年 3月	原田 哲生
平成 8年 4月～平成18年10月	熊坂 道明
平成18年10月～平成24年 3月	門脇 良宣
平成24年 4月～令和 2年 3月	山口 重信
令和 2年 4月～現在	小林 直也



令和元年度秋季大会



令和6年度末武杯

愛川町レクリエーション協会

レクリエーション協会の紹介

協会のあゆみ

昭和45年に結成され、民踊や社交ダンス、日本レクリエーション協会公認指導者を中心に活動をしてきました。高齢化、会員数の減少に伴い、加盟団体が減り、現在、加盟団体

3団体で活動しています。各団体が持つ特技を生かして、仲間との語らいや体力作り、充実したイベントを通して、楽しい時間をお届けし、町民の皆さんの健康寿命延伸、余暇が充実したものになるようお手伝いをしています。

主な活動 加盟団体の活動の概要

団体名・会長名・会員数	例会日・活動場所	活動内容
愛川町民踊クラブ 会長 近藤 恵代 10人	地域練習日 毎週（月） 13:00～ 半原公民館 会議室	・県民踊連盟の初踊り、発表会、県会員大会参加 ・町スポーツ協会、県レク協会事業の参加 ・町民対象の講習会 ・盆踊り教室の講師 ・地域施設慰問
リトルキャニオン スクエアダンスクラブ 会長 中島 清美 17人	木曜例会 19:00～21:00 春日台会館2F ※祭日、第5木曜日は 休み。変更もあり。	・アニバーサリー ・初心者教室 ・神奈川県SD連絡橋議会行事に参加 ・町スポーツ協会事業に参加協力
愛川レクリエーションクラブ （日本レクリエーション協会 公認指導者のクラブ） 会長 井上 桂 10人	随時 中津公民館	・自主事業 しめ縄飾り作り（12月） ・ユニカール教室開催 ・町スポーツ協会事業に参加・協力 ・町ボランティア連絡橋議会の事業に参加・協力 ・各種団体のレク事業に講師派遣 ゲーム指導、ニュースポーツ指導等



ユニカール教室開催
(レククラブ)



懇親会での披露
(スクエアダンスクラブ)



スポーツ協会賀詞交歓会での
民踊披露(民踊クラブ)

今後の抱負

本協会は現在、民踊、スクエアダンスの2団体と日本レクリエーション協会の公認指導者で組織する1団体、合計3団体、会員数37名からなっています。

各団体の持ち味を生かしながら、愛川町スポレク祭などの町行事を通して、町民の皆さんに、仲間と体を動かす楽しさをお届けしています。

今後は、より多くの仲間を増やし、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に楽しめる場作りをしていきたいと考えています。



会員懇親会で（令和6年11月）

【歴代会長】

初代 森田マサエ（昭和45年～平成17年10月）

2代 井上 桂（平成18年4月～現在）

令和6・7年度役員

役職	氏名	所属団体
会長	井上 桂	愛川レクリエーションクラブ
副会長	中島 清美	リトルキャニオンスクエアダンスクラブ
副会長	佐川 育子	愛川町民踊クラブ
理事	根岸 真弓	愛川レクリエーションクラブ
理事	中瀬 洋子	愛川レクリエーションクラブ
理事	大越 令子	愛川町民踊クラブ
理事	梅澤 雪江	愛川町民踊クラブ
理事	大野 文男	リトルキャニオンスクエアダンスクラブ
理事	織田 洋子	リトルキャニオンスクエアダンスクラブ
会計監査	宮下 秀子	リトルキャニオンスクエアダンスクラブ

他団体への派遣役員

◎愛川町レク協会選出役員等	
愛川町スポーツ協会常任理事	井上 桂
愛川町体育スポーツ理事	中島 清美
愛川町体育協会評議員	中瀬 洋子、増本 文子
◎愛川町レク協会加盟団体役員	
NPO法人神奈川県レクリエーション協会参与	井上 桂

◎関連団体役員	
日本スクエアダンス協会幹事	中島 清美
神奈川県スクエアダンス連絡協議会正理事	中島 勲
神奈川県スクエアダンス連絡協議会副理事	中島 清美
神奈川県支部民踊連盟理事	岡本 洋子

愛川町バドミントン協会

バドミントン協会の紹介

設立年月日 昭和47年9月30日
 会員数 137名

愛川町バドミントン協会は、神奈川県教育委員会の主催によって開催された「巡回スポーツ教室」の受講生を中心に、昭和47年9月に小規模ながら協会として誕生しました。

以来、会員相互の親睦と協力のもと、年々その組織を増大させ、令和4年には創立50周年を迎えるなど、これまでの間に、定期的な練習会や大会を開催してきたほか、レディースチームや小学生のジュニアチーム「愛川ジュニアバドミントンクラブ」を立ち上げ、バドミントン愛好家の拡充と技術の向上、幅広い世代での交流などに積極的に取り組んできました。

そして、現在では、当協会から神奈川県バドミントン協会の会長及び常務理事(競技副委員長)が選出されるなど、県バドミントン協会においても大いに認められる団体にまで成長しています。

こうした団体としての活動に加え、会員個人にあってもすばらしい活躍をしており、特に30歳を超える方々で構成されるシニアの部においては、毎年、全国大会で上位の成績を収めています。

近年では、全日本シニアバドミントン選手権大会において、林隆史さんが男子ダブルス準優勝(2024年)、梅澤真美さんがミックスダブルス第3位(2022年)、当協会の会長である近藤勇司さんが男子ダブルスでベスト8(2024年)と素晴らしい成績を残しており、いずれの選手も神奈川県代表として毎年のように全国大会に出場しています。

なお、林さんと梅澤さんにあっては、全日本シニアバドミントン大会の結果を受け、翌

年の世界シニア選手権に日本代表選手として出場するなど、その活躍は国内にとどまらず、世界にまで広がりを見せています。

また、愛川ジュニアバドミントンクラブからも、神奈川県での厳しい予選会を突破し、関東大会や全国大会に出場している子どもたちのほか、ジュニアクラブの卒団生の中には、中学生の県代表選手として全国大会への出場を果たした選手や、高校生になってもバドミントンを楽しみながら続けている子どもたちもあり、将来の期待が膨らむところでもあります。

令和4年に行われた「2022あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」では町スポーツ協会と連携し、北京オリンピック女子ダブルス日本代表の小椋久美子さんをお招きし、トップアスリートバドミントン教室を開催したほか、本年1月にはバルセロナオリンピック出場の森久子さんによる、小学生を対象としたバドミントン教室を開催するなど、ジュニア期からの育成にも力を入れているところです。

バドミントンは、競技性の高さだけでなく、年齢や性別、体格や障害の有無などを問わず楽しめるスポーツでもあります。当協会としては、未来の選手たちが羽ばたける環境づくりや選手・指導者の育成はもとより、今後も健康づくりや生涯スポーツとしてバドミントンを楽しむ方々が増えるような活動も進めていきたいと考えています。

愛川町バドミントン協会の主な事業

- 年間3～4回の一般対象の試合
令和7年度は、第179回、180回、181回大会を実施
- 中学生対象の試合
令和7年度は、第35回大会を実施

3. 小学生対象の試合
令和7年度は、第15回大会を実施
4. 愛川町総合体育大会バドミントン競技
毎年、中学生と一般の部を実施
5. その他、神奈川県バドミントン協会主催
大会に積極的に参加

【歴代会長】

昭和47年 9月～昭和48年 3月	渡辺 寧
昭和48年 4月～昭和58年 5月	小川 重雄
昭和58年 6月～平成15年 3月	原 法雄
平成15年 4月～平成29年 3月	熊坂 忠雄
平成29年 4月～現在	近藤 勇司

※近藤勇司 令和4年～現在
神奈川県バドミントン協会会長



梅澤真美さん（世界シニア選手権2023）



小林晴さん（愛川ジュニアバドミントンクラブ卒団生、第24回全日本中学生バドミントン選手権大会に神奈川県代表選手として出場）



林隆史さん（左）（世界シニア選手権2025）



「2022あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」でのトップアスリートバドミントン教室（講師：小椋久美子さん）

愛川町テニス協会

愛川町テニス協会の紹介

愛川町テニス協会は昭和49年に4名による同好会活動が発端となり、同年に設立されました。昭和50年に体育協会に加盟、昭和51年には神奈川県テニス協会に加盟したと記録されております。

以前は30社に近い事業所が愛川町テニス協会に加盟され発展してきましたが、現在は経済情勢や時代の流れもあり、1団体の事業所と2団体のクラブチームの団体です。加盟者数は約70名、当テニス協会が主催する大会は年間4回あります。

愛川町テニス協会の大会は4月に春季大会（シングルス・ミックス戦）、6月に愛川町総体（ダブルス、ミックス）、9月には秋季大会（シングルスとダブルス）、11月にチーム対抗戦（団体戦）が毎年行われています。

近年、大会参加者の減少が続き、この先細りの状況を打破するため、3年前にホームページの全面見直しを行いました。大会へのフリーエントリーを取り入れ、大会開催を広くアピールすることにより、大会参加者は大幅に増加してきました。

大会以外では2月に親善交流会があり、老若男女の色々な方とテニスを楽しめるイベントを数年前から実施しています。5月には初心者・初中級者および小学生を対象に硬式テニススクールを第1号公園で3回実施しております。このスクールはテニス協会設立当初から50年以上継続しており、毎回30名程度の参加者があり、毎年参加されている常連の参加者からも好評を得ています。

2012年の夏から愛川町姉妹都市の長野県立科町と交流事業を開始し、コロナ禍を除いて8月下旬の2日間、暑い時期に毎年開催しています。地元で収穫された色々な果物をご馳

走になりながら和気あいあいの雰囲気です試合が行なわれます。初日の夜の酒盛りも楽しみの一つとなっています。

この度、愛川町スポーツ協会と同様に当協会も半世紀、50周年と言う特別な節目を迎えられたのも、設立当時の先人たち、そして現在の協会を支え、盛り上げて頂いている大勢の皆様のおかげです。この長い年月、テニスを通じて多くの友情や交流とたくさんの思い出が生まれました。この場を借りて、深く感謝申し上げます。

今後の抱負

今から11年前の2014年に全米オープンで決勝進出した錦織圭、衝撃的な活躍で多くの日本人に勇気と感動を与えた彼は現在35歳となり、ここ数年はケガと故障で苦しい状況でありましたが、今年2025年のお正月、シーズン開幕戦の香港オープンで準優勝、久々に調子が上がっています。体調が良ければまだまだ活躍できる選手、今年は大いに期待したい。

レベルは全く違うが、同じテニス愛好家の一人としていつまでもテニスを楽しみたいと思う。高齢化社会となった今、70歳、80歳代のテニスプレイヤーが周りでも増えてきています。私自身も若いころは野球、バスケットやスキーに熱中してきましたが、現在はひざ痛で殆ど走ることが出来ません。それでも楽しめるのがテニスです。

令和5年12月、テニス協会にフレッシュな茅大夢新会長を迎えました。今後のテニス協会は、若者から中堅、熟年世代の誰もが楽しめるスポーツ、“テニス”を通じて“スポーツの町・愛川町”に少しでも貢献できればと思います。また、テニス協会としては初心者から上級者まで、幅広い世代が楽しめるテニスコー

トの環境を整備し、今後もより多くの方にテニスの魅力を伝えてまいります。

「継続は力なり」、これからも、多くの皆様と一緒にテニスの歴史を繋げていく所存です。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

愛川町テニス協会
理事長 鈴木 正美

<https://www.aikawatennis.shop/>



【歴代会長】

平成 8年 4月～平成13年 3月	田淵 国夫
平成13年 4月～平成17年 3月	秋山 明
平成17年 4月～令和 5年11月	鳥羽 清
令和 5年12月～現在	茅 大夢

会長メッセージ

令和5年12月より、愛川町テニス協会の会長に新しく就任させていただきました。茅大夢（かやひろむ）と申します。

会長に就任してから、テニス教室やあいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル等々、様々な場面で活動に携わらせていただいております。その中で、老若男女関係なく、大勢の方が楽しんでいるのを見て、この協会の会長という立場においていただいていることをいつも誇らしく感じております。単に会長というポストにいただけでなく、私自身も実際にテニスを楽しみながら、皆様と一緒に汗を流して盛り上げていきたいと考えております。

テニスを通じて地域の発展に貢献できるよう、会長として精一杯尽力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

愛川町テニス協会会長 茅 大夢



2023硬式テニス教室



2024硬式テニス教室



2024立科町交流事業



2024親善交流事業

愛川町バスケットボール協会

バスケットボール協会の紹介

底辺を広げるために、中学校の要望に応え、各大会は継続にて現在に至っております。その間、ミニバス大会、三好杯として平成10年代に（厚木・愛川・伊勢原・海老名）3回開催しました。

過去には、役場職員主体にて県青年大会にて優勝、昨年10月の「2024あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」におい

ては、第2号公園に新しく整備されたバスケットボールコートで、B1リーグ所属のプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」のバスケットボール・アカデミーコーチを講師に迎えて開催された「バスケットボール教室」への協力しております。

近年は新しいクラブチームの加入が無かったことから、本年組織を一新し、種々の企画にて活動を期待したく考えます。

最近の活動（令和4～6年度）

令和4年4月9日（土）	さんこう杯（25回）愛川・愛川東・愛川中原中学校
令和5年2月4・5日	教育リーグ一年生大会（32回）
令和5年5月3・4・13日	夏季大会（55回）
令和5年6月3日（土）	さんこう杯（26回）愛川・愛川東・愛川中原中学校
令和6年5月3・4・11日	夏季大会（56回）
令和7年2月1・2日	教育リーグ一年生大会（33回）

【歴代会長】

昭和50年度～令和 6年度	三好 正秋
令和 7年度～ 現在	小島 好昭





令和6年10月13日に開催の「2024あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」では、新設された第2号公園バスケットコートで、B1リーグ所属「横浜ビー・コルセアーズ」の「バスケットボール・アカデミー」コーチによる「バスケットボール教室」が実施された。

愛川町ソフトボール協会

協会のあゆみと主な活動

愛川町スポーツ協会の創立50周年を心からお喜び申し上げます。

愛川町ソフトボール協会は、昭和54年4月に設立されました。10月には第1回秋季大会が40チームの参加で盛大に開催されました。

昭和56年12月には、清川村ソフトボール協会と一緒に愛甲郡ソフトボール協会を設立して、昭和57年4月に神奈川県ソフトボール協会に加盟しました。会員1200名、一般男子32チーム、壮年男子15チーム、一般女子12チーム、OB（実年50歳以上）7チームの大勢の団体となりました。審判員も55名となりました。

昭和60～61年頃が最盛期で、60チーム、会員1,300名でした。

昭和63年11月に、創立10周年の記念式典を愛川町文化会館にて開催し、記念誌を発行しました。8月には友好都市立科町にて親善試合を行いました。当時の登録チームは、男子37チーム・選手959名、女子8チーム・選手116名で、選手は合計1075名でした。春と秋にそれぞれ一般男子、壮年男子、一般女子のトーナメント戦を実施していました。

平成15年にシニアチーム・愛甲クラブを発足し、県シニア連盟に登録しました。平成23年に準優勝し、翌年5月に千葉県野田市での関東大会に初出場しました。令和6年11月には、神奈川県シニアスポーツフェスタで優勝し、令和7年11月に開催予定の「ねんりんピック2025岐阜大会」に県代表としての出場権を獲得しました。

平成23年12月に愛甲郡ソフトボール協会創立30周年記念式典を愛川町文化会館にて開催し、記念誌を発行しました。当時は、一般男子が17チームで一部・二部・三部に分れ、壮年男子が13チームで、一部・二部に分れてそ

れぞれ年間リーグ戦を行いました。選手は568名でした。また、一般男子と壮年男子の部でそれぞれ町総合体育大会兼会長旗争奪戦・小島杯のトーナメント戦を行っていました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響では、令和2年度の開幕式を中止し、8月から大会を実施しました。大会参加を見合わせるチームや解散するチームも多数ありました。一般男子チームは1チームだけとなり、郡での大会ができなくなりましたので、厚木市の大会に参加しています。町勤労祭ソフトボール大会も中止になりました。また、愛甲郡ソフトボール協会創立40周年の記念行事を取りやめて、令和3年度総会については書面会議に変更しました。また、近隣の厚木市・伊勢原市・秦野市と毎年1回開催していました、3市1郡親睦大会も中止になりました。

近年は、競技人口と参加チーム数の減少が課題になっています。令和6年度には、壮年15チーム会員271名となり、清川村のチームの参加はなくなりました。

審判員は人数減少と高齢化が進み、令和6年度には15名平均年齢69歳になり、審判員の負担が課題となりました。そこで、令和7年1月に日本ソフトボール協会第3種公認審判員認定講習会を開催して、新たに33名の増員を図ることができました。また、平均年齢も56歳と若返りました。これからの活躍を期待しています。

郡協会には、女子チームが無いので、男女混合チームとして、現在4チームで6名の女子選手が男子に交じって活躍しています。

また、毎年4月に厚木・愛甲地区中学校春季大会を開催していますが、愛川町の中学校にチームがなくなり、寂しいものです。

2028年には、ロサンゼルスオリンピックでソフトボールがまた復活します。皆様のご協

力を頂きながら、当協会としても生涯スポーツとしてのソフトボールの普及活動に、一層力を入れていく所存です。

エルダー大会県予選
 県家庭婦人連盟春季大会・秋季大会
 県シニア連盟秋季大会
 県シニア強化試合

令和6年度の主な活動結果

郡大会

壮年一部リーグ戦 (8チーム)
 優勝 六倉ソフト
 壮年二部リーグ戦 (7チーム)
 優勝 沢友会ダンディーズ
 実年大会トーナメント戦 (8チーム)
 優勝 田代第三スターズ
 町総合体育大会兼会長旗争奪戦兼小島杯
 トーナメント戦 (11チーム)
 優勝 田代第三スターズ
 シニア大会 (4チーム)令和7年3月に延期

県大会 (町内で実施の大会)

全日本壮年大会県予選
 関東一般男子大会県予選
 レディース大会県予選
 エルデスト大会県予選

その他

厚木・愛甲地区中学校春季大会
 ピッチングバッティング技術講習会
 第3種公認審判員認定講習会
 審判伝達研修会

歴代会長

郡協会会長 小島 鎮 夫 (S57~H 7)
 藺牟田 辰 巳 (H 8~H15)
 馬 場 学 郎 (H16~R 1)
 石 坂 俊 雄 (R 2~R 5)
 佐 藤 圭 介 (R 6~現在)
 町協会会長 藺牟田 辰 巳 (S54~H 9)
 大 倉 寛 (H10~H19)
 榎 本 照 夫 (H20~H27)
 石 坂 俊 雄 (H28~R 1)
 柴 田 重 伸 (R 2~現在)



平成23年12月 愛甲郡ソフトボール協会創立30周年記念式典



令和6年4月 開幕式



令和7年1月 第3種公認審判員認定講習会

愛川町サッカー協会

はじめに

愛川町スポーツ協会が創立五十周年を迎えましたこと誠におめでとうございます。

心からお祝い申し上げます。

これまで、スポーツ協会の運営に携わってこられました、関係者の皆様を初め、歴代の会長、役員の皆様方には、愛川町スポーツ協会の発展並びに町のスポーツ振興にご尽力賜りましたこと、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、当サッカー協会は、平川義則先生や齋藤増雄顧問の尽力により昭和56年に創立し、当時の体育協会（現スポーツ協会）へ加盟させていただきました。

当時は、内陸工業団地も現在のように流通系の企業でなく、自動車関連や機械関連の生産企業が主流で従業員も多く、それぞれの企業のグラウンドでスポーツも盛んに行われていました。当サッカー協会も毎回のよう企業グラウンドをお借りして大会やリーグ戦を行っておりました。

平成8年に三増公園陸上競技場が完成し、芝生でプレーすることが出来るようになりました。

すばらしい競技場ができたことは、感謝に堪えず、またみんなが大変喜んだ姿は、忘れられない出来事でした。

現在、日本のサッカーは目覚ましい発展を遂げており、海外で活躍する選手も多くなっています。

「サッカーは世界のことば」のとおり、言葉が通じ合えなくとも、ボールを蹴ればすぐに打ち解け合い、笑顔が生まれ、誰もが楽しめるスポーツです。

「日本サッカーの父」として有名なドイツ人の「デットマール・クラマー」氏の名言にこ

んな言葉があります。

「サッカーは子どもを大人にし、大人を紳士にする」。

当協会役員も年齢を重ね、以前のように真っ黒になってボールを追いかけるようにはいきませんが、これからも紳士のスポーツとして生まれたサッカーを愛し、「フェアプレー」の精神、で続けていきたいと思えます。

結びに、愛川町スポーツ協会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

【歴代会長】

・初代会長

平川 嘉 則 氏 昭和56年度～平成 5年度

・二代会長

安 田 吉 弘 氏 平成 6年度～平成16年度

・三代会長

齋 藤 増 雄 氏 平成17年度～平成30年度

・四代会長

平 本 明 敏 氏 平成31年度～現在
(令和元年度)

【歴代理事長】

・初代理事長

齋 藤 増 雄 氏 昭和56年度～平成12年度

・二代理事長

平 本 明 敏 氏 平成13年度～平成30年度

・三代理事長

佐々木 賢 治 氏 平成31年度～現在
(令和元年度)

雑記

1998年の英国祭では、サッカー発祥の地イングランドから三増公園にイングリッシュオークの木が植樹されています。

これは、日英グリーン同盟と言って英国と日本の間の友好関係をより強く、広いものに

するために行われた植樹活動です。

三人目のプロ選手をめざして！

当協会所属の少年サッカーチーム「ハリマオSC」では、すでにご承知のようにJリーグ、湘南ベルマーレにGKの真田幸太（26歳）選手

が、またWEリーグのINAC神戸レオネッサにMFとして箕輪千慧（22歳）選手の2選手が現在活躍しております。

そのような中、二人に続くプロ選手を目指して、子供たちが毎日練習に励んでいます。応援をお願いします。



オークの木



愛川町水泳協会

愛川町水泳協会の紹介

愛川町の水泳協会は、現在会員約20名で活動をしています。

水泳は、全身を使った運動として広く世の中に認められています。小学校年代の習い事ランキングでは、第1位（ベネッセコーポレーション2025調べ）となっており、多くの方々に親しまれているスポーツです。

本協会員は、競技として取り組んできた者だけではなく、大人になって泳ぐ楽しさを学んだ者まで幅広く参加しています。

その中で、泳ぐ楽しさ、爽快さ、自由を感じながら活動してきています。

活動内容としては、主に町水泳大会の運営、町民対象の水泳教室の実施などです。

町水泳大会は、令和7年度で第44回を迎える伝統ある大会で、町内在住在勤者を対象に実施しています。以前は、毎年愛川東中学校のプールで行っていましたが、令和3年度から第1号公園プール、令和7年度は愛川東中学校プールを使用して実施してきました。

普段スイミングスクールで練習をしている小学生や部活動で頑張る中学生、水泳部OBの高校生から水泳愛好者の成人まで幅広い参加者がいます。



R6水泳大会 リレーの様子

当日の受付が可能で、個人種目2種目は自由にエントリーできます。さらに、リレーで

は、性別、年齢を超えて、当日作られる即席のチームもいくつかあり、真剣に楽しく盛り上がります。優勝チームには優勝カップの贈呈も行われます。大会の参加者には、全員に記録証と各種目の優勝者には表彰状が渡されます。また、最後にはお楽しみのプレゼントもあり、毎年大いに盛り上がります。



R6水泳大会 表彰の様子



R6水泳大会 集合写真

水泳教室は、小学生以上の町民すべてを対象とし、全く泳げない人からさらにいろいろな泳ぎ方を学びたい人まで毎年多くの参加者がいます。最近では、レオスイミングスクールのプールを借りて実施しています。



R6水泳教室の様子



R6水泳教室体操の様子

顔をつけられなかった人が、浮かぶことができるようになったり、5メートルしか泳げなかった人が15メートルまできれいなフォームで泳げるようになったり、息継ぎを練習して25メートル以上泳げるようになったりと参加者の成長は毎年目を見張るものがあります。近年は、保護者も一緒に参加しやすいように参加方法を考慮し、親子での参加も増えています。



R6水泳教室の様子

毎年参加して泳力をつけていく小学生や協会会員と子どもの指導法を体験する保護者の方、小学生と一緒に練習し、新たな泳



R6水泳教室の様子

法に挑戦する成人の方など、みなさん満足して帰られます。

また、小学校教員向けの水泳指導法研修会も実施しています。これは、近年若い教員が増え、水泳指導の研修機会が少ないことから協会員が、参加した教員に対して水泳学習の指導法を実践形式で研修しているものです。



R6研修会参加者

今後の抱負

事業の運営は、少ない会員数や高齢化、会場の確保などで厳しい状況にはありますが、新たな会員・若い会員の募集をし、今後も是非とも続けていきたいと考えています。

さらに会員の定期的な練習会や記録会などを実施して、親睦、技術の向上を図り続けたいと考えています。

泳ぐことが好きな人！ 新会員 随時募集中です。

愛川町スキー協会

スキー協会の紹介

昭和59年（1984年）に設立したスキー協会も今年で41年が経ちます。年々会員が減少し、現在は約20名で活動をしています。当協会では、6年前に会長職を現会長へ移管し、前会長の意思を受け継ぎながら、志新たに活動をしています。活動内容も、スキーの技術向上を目指す町民スキー教室から、スキーを含めたスノースポーツを楽しむ町民スキーツアーへと趣向を変えています。

近年では、地球温暖化の影響を受け、スノースポーツが行える期間がさらに短くなっています。スノースポーツは一般的なスポーツと違い、活動できる期間が冬のみと限定的です。また、その短さゆえの難しさからか、スノースポーツをする若者が減ってきております。そんな中でも最近では、シニアやジュニアの活動が目立ってまいりました。特に、シニアの方々のパワー（活力）は、スキーのみならず、目を見張るものがあります。

というのもスキーは、ウォーキングやハイキング、マラソンなどと同じ、生涯学習としてのスポーツとして位置づいています。当協会でも、多くの方が70歳を超えてなおスキーを、そして、スキーを通じた活動を楽しんでいます。そんなシニアの方々も含め、もっと多くの人々にスキーの楽しさ、爽快さを、体感していただきたいと思っております。

さて、当協会では、町民スキーツアー、市町村対抗スキー競技会、と活動をしております。毎年1月に開催しておりますスキーツアーでは、参加者全員で技術の向上を図り、2月のスキー教室は友好都市である長野県立科町で行い、3月は日帰りのツアーを開催しております。また、競技会では、アルペンスキーの回転・大回転競技や、クロスカン트리スキー競技があり、一般のスキーでは味わうことの出来ない緊張感を楽しむことができます。

さいごに、技術のみにこだわるのではなく、年齢や性別にとらわれず、スキーを通じて行われる仲間との交流こそが、スキーの楽しさであると我々は考えます。幅広い年齢層の人々との交流（ふれあい）が、シニアやジュニアを含めた全ての人に、さまざまな物事を学ぶ機会をあたえてくれます。町民の方々をはじめ、より多くの人に、楽しいスキーをする場を提供していくことが、我々スキー協会の役目であると自覚し、今後の活動をしてきたいと思っております。

【歴代会長】

昭和59年11月～平成 2年 3月	寺尾 寿夫
平成 2年 4月～平成29年 3月	川岸 保貴
令和元年 6月～現在	吉岡 則天



愛川町ゴルフ協会

ゴルフ協会のあゆみと主な活動

①ゴルフ協会の設立

愛川町ゴルフ協会の設立は、平成元年の4月「町民みなスポーツの町」宣言を機に、準備会を経て同年10月26日に総会と会員ゴルフ大会を開催し、正式に発足しました。

平成10年の「かながわゆめ国体」に向けて県体育協会（現在はスポーツ協会）より各市町村にゴルフ協会設立の要請がありましたが、既にゴルフ協会が設立されており愛川町として要請に応えることが出来ました。（平成3年に県ゴルフ協会が設立され、ゴルフ競技は「かながわゆめ国体」ではリハーサル大会として行われ、次の熊本国体で正式種目となりました。）

②定期総会と会員ゴルフ大会

平成2年6月20日、第1回定期総会と会員ゴルフ大会を開催し、以降5月を中心に平成、令和と継続し令和7年5月16日には、第36回定期総会と会員ゴルフ大会を実施しました。



会員ゴルフ

③町民ゴルフ大会

平成2年10月22日に「第1回町民ゴルフ大会」を開催しました。（285名参加）以降毎年10月に実施を続け、平成10年までは、ゴルフブームもあり、参加者が300名を超える年もあ

りました。その後参加者は安定し150名前後で開催を続け、現在（令和7年）も「町民親睦ゴルフコンペ」として継続しています。

令和5年頃からは、女子プロゴルファーの活躍もあり、若い世代を中心にゴルフ熱が高まり、健康志向と相まって参加者は年々増加しています。

④初心者ゴルフ教室・ジュニアゴルフスクール

平成2年から開催している「初心者ゴルフ教室」は「初心者スキルアップゴルフ教室」と名称を変更し30年にわたり続けてきました。また、平成13年4月からは「ジュニアゴルフスクール」を実施し、以降夏休み中の7月後半から8月に実施し、スクール参加者からプロゴルファーも誕生しています。

しかし、ゴルフ施設の混雑等の影響で令和4年から開催する環境を整えることが難しい状況となり現在は共に中断しています。今後、状況の好転を望んでいます。

⑤立科町親睦交流ゴルフ大会

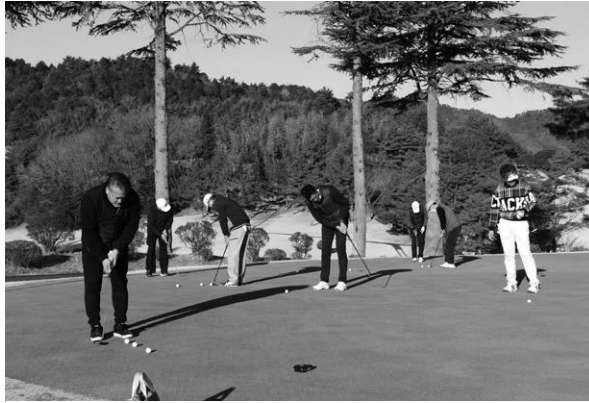
平成3年には、友好都市の立科町「第15回町民ゴルフ」に参加し、その後も毎年相互に交流を続けて両町のスポーツ交流の一役を担って30年以上が経過しています。

⑥研修競技会・対外競技

平成23年よりアマチュア競技の選手選考と技術向上を目的として研修競技会を発足させ、年3回の研修会を開催しています。

「県央地区（県央6市1町）ゴルフ大会」では、第8回大会に於いて見事、団体優勝に輝くと共に、女子優勝、準優勝、男子準優勝を成し遂げました。また、「県知事杯争奪・市町村対抗ゴルフ大会（23市町参加）」では2022年に団体の部で第3位入賞と男子55歳以上の部

で準優勝に輝きました。



研修会風景

協会運営と役員構成

①協会運営

愛川町ゴルフ協会はゴルフを通して

- ・ゴルフ競技の普及発展に努める。
- ・町民の健康増進と親睦を深める。
- ・会員相互の親睦を図ると共にゴルフの技能向上を目指す。

ことを目的としています。

現在協会の登録会員は120名前後で推移しており、会員のニーズとしては、主に皆でプレーを楽しみ健康を増進させることを目的とするメンバーが約60名、競技出場や技術向上を目指し研修会・競技会に参加することを目的とするメンバーが約60名です。

(県アマゴルフ選手権に出場するには市町村の協会への所属が義務付けられています。)

②役員構成

会 長	吉川裕治 (県協会理事)
副会長	福島 豊、梶 喜雄
理 事	中屋三男、鈴木慎三、井上尚平 柏木敬治、足立原徹、茅 孝之 高木修二、土田周二、薄 秀一 矢後浩太、熊坂 真
事務局長	井上尚平
会 計	熊坂 真
監 査	岡田秀樹、浅野憲一
顧 問	小島総一郎、石坂俊雄、平本幸一 萩原昭夫

【歴代会長】

平成元年10月～平成12年 3月	山口 徳治
平成12年 4月～平成20年 3月	木藤 照雄
平成20年 4月～平成22年 3月	石坂 俊雄
平成22年 4月～平成30年 3月	小島総一郎
平成30年 4月～令和 4年 3月	平本 幸一
令和 4年 4月～令和 6年 3月	萩原 昭夫
令和 6年 4月～現在	吉川 裕治

今後に向けて

余暇的スポーツであったゴルフも競技として盛んになり、オリンピックの種目となる程スポーツとして定着して来ました。しかし、競技は平日に行われるため参加者が限られてしまう事や、休日の開催ではプレー費の負担が大きくなってしまふ等がひとつのネックとなっています。

現在、若いゴルファーが大きく増えて来ているなかで、より良い方向に進んで行けるよう努力し、協会として力を発揮したいと思います。

愛川町ゲートボール協会

ゲートボール協会の紹介

愛川町ゲートボール協会は、昭和45年に愛川町老人クラブ連合会から発足し、昭和59年に神奈川県ゲートボール連合に加盟して、活動を発展してきました。

令和6年4月現在は、会員減少しながら各地区10団体、会員総数63名で、活動しています。日常活動はクラブごとの週数回の練習会。月例会は愛川地区・中津地区・高峰地区にわかれて老若男女問わずともできるスポーツで、仲間と楽しんでいます。

そして令和6年3月、県ゲートボール連合脱会後は県央支部、相模原ゲートボール協会との交流をはかり町内は、ゆめクラブ愛川・地区団体大会に参加し技術のレベルアップに努めています。

何はともあれ、健康であることです。そして、地域の皆さんと和を大事にし日々を楽しみ、目標を持ち、活力を発揮し1人ひとり充実した毎日を過ごすことだと思っています。

アマチュア競技規則

1. スポーツを愛し、楽しむために自己啓発に励むこと。
2. 競技規則はもとより自らの属する団体の規則を遵守しフェアプレーに徹すること
3. 常に相手を尊重しつつ和気あいあいのもとに自己の最善をつくすこと。

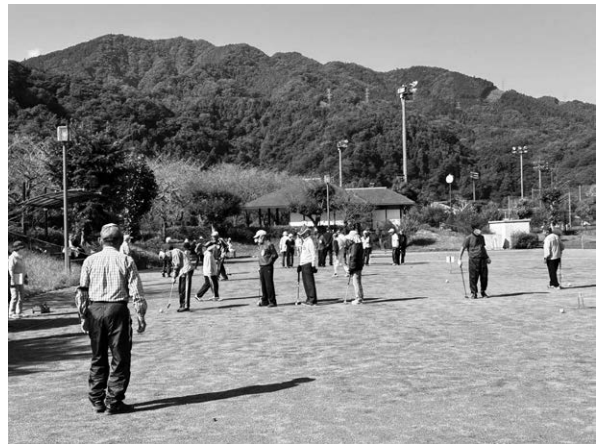
フェアプレー

- ① 勝敗にかかわらず相手を尊重すること。
- ② 審判を尊重し、協力を惜しまない確固たる精神。
- ③ みせびらかしてないスポーツマンシップ。

高齢化社会、ますます増していくと考えます。

ゲートボールは、むずかしい競技といわれますが初心者でも、正確（芯）にボールに当てる訓練をすれば、ゲームに参加出来ます。

そして健康づくり、体力維持に最適と考えます。



主な事業

月	事業名	会場
4月	愛川町 春季ゲートボール大会	田代運動公園GB場
5月	県央支部 春季親善ゲートボール大会	金田GB場
5月	愛川町 強化育成リレーション3GB大会	田代運動公園GB場
6月	JA県央愛川 春季ふれあいGB大会	田代運動公園GB場
6月	愛川町 親善ゲートボール大会	田代運動公園GB場
9月	愛川町 GBスポーツ教室	田代運動公園GB場
10月	愛川町 秋季ゲートボール大会	田代運動公園GB場
10月	ゆめクラブ愛川 ゲートボール大会	田代運動公園GB場
10月	県央支部 秋季親善ゲートボール大会	金田GB場
11月	JA県央愛川 秋季ふれあいGB大会	田代運動公園GB場
11月	相愛信用組合 ゲートボール大会	田代運動公園GB場
11月	幾徳杯 ゲートボール大会	神奈川工科大学
3月	愛川町 桜ゲートボール大会	田代運動公園GB場

【歴代会長】

1、愛川町老人クラブ連合会のところ

昭和54年 初代会長 菊地原 義三
 2代会長 足立原 輝代子
 3代会長 幾 重 元久

平成12年 4月～平成18年 3月 内 野 清 司
 平成18年 4月～平成21年 3月 野 □ 喜巳夫
 平成21年 4月～平成24年 3月 伊 従 喜久雄
 平成24年 4月～平成26年 3月 佐 藤 長 義
 平成26年 4月～平成28年 3月 小野澤 茂
 平成28年 4月～平成30年 3月 牧 野 尚 弘
 平成30年 4月～平成31年 3月 小野澤 茂
 平成31年 4月～現在 山 内 寛 一

2、神奈川県ゲートボール連合加盟以後

昭和59年 1月～平成 2年 3月 菊地原 義 三
 平成 2年 4月～平成12年 3月 原 武 夫



令和6年3月 神奈川県ゲートボール連合を退会 内3名厚木市を通じて入会を継続

愛川町ペタンク協会

ペタンクの歴史

ペタンクは、1910年に南フランスの港町ラ・シオタで生まれたボールスポーツです。プロヴァンサルという助走をつけて投球するゲームが、全員が同じ場所から投球するようになり、ピエタンケ…「両足を揃える」の意からペタンクになったと言われています。

発祥国フランスでは500万人以上がプレーを楽しんでおり、そのうち40万人がペタンクのライセンスを持ち様々な大会に参加しています。

ペタンクが親しまれる理由は、どこでもほんの少しのスペースで気軽にプレーできることにあります。ゲームではたった1球で形勢を有利にしたり、大量得点をとったりするところに面白さがありますが、そのためには集中力を必要とし、巧妙な戦略や高度な技術を身に付けなければなりません。

思い通りの投球ができたり、作戦が的中した時にはこの上ない爽快感があるものです。

事業の紹介

1 定例会、練習会

定例会 毎月第1土曜日、第3日曜日
10時から 坂本多目的広場

練習会 毎週土曜日、日曜日に随時行っている。 坂本多目的広場

2 自主事業

(1) 会議等
定期総会
理事会

(2) ペタンク教室ペタンク大会
○ペタンク教室年5回実施
(令和7年末で通算131回)

○愛川オープンペタンク大会
(令和7年で通算23回)

会場坂本多目的広場

(3) 懇親会等

3 愛川町、愛川町スポーツ協会、県内の団体等の事業への参加・協力

(1) 愛川町

○あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル

ペタンク体験指導

○愛川町一周駅伝競走大会

監察・走路員

(2) 愛川町スポーツ協会

○理事会、定期総会、専門委員会 等

(3) 中津第二小学校

○遊び塾にてペタンク講座

(4) その他

○県内の各種団体でのペタンク指導

4 神奈川県ペタンクボール連盟への参加協力

○理事会・定期総会

5 各種ペタンク大会への参加

○県内の各ペタンク協会主催大会参加
川崎・小田原・厚木・座間・相模原・横浜・藤沢

○県外の各ペタンク協会主催大会参加

1 ねんりんピック

2 全国ベテラン選手権大会

3 関東ブロック選手権大会

6 東日本選手権大会

2005年10月15,16日

第5回千葉県成田市優勝

7 日本選手権大会

- (1) 2002年10月5,6日
第17回 三重県朝日町 3位
- (2) 2004年11月13,14日
第19回 熊本県三加和町 2位
※親子で参加。子供は当時中津第二小
6年生でした。
- (3) 日本選手権大会には県の選考会を得て
毎年選手権大会に参加しております。
2022年沖縄県大会
2023年秋田県大会
2024シニアフェスタかながわ大会 優勝
2025ねんりんピック岐阜大会神奈川代表

ペタンク競技の紹介

ペタンクという競技は木製の目標（ビュット）に金属製のボール（プール）を投げあって相手より近づきことで得点（13点）を競う競技です。

相手のボールに当ててはじき飛ばしたり、味方のボールにおすように当てビュットに近づけたり、ビュットに当てて相手のボールを遠ざけたりし、カーリングに似た戦術で競技を進めて行きます。

ゲームはトリプル（1チーム3人）3対3、ダブルス（1チーム2人）2対2、シングル（1対1）の形式で行われ、トリプルは各自2個のボールを投げダブルスシングルは、各自3個のボールを投げます。



【歴代会長等】

初代会長	平成 3年 4月～平成22年 3月	井上 桂
2代会長	平成23年 4月～平成30年 3月	高木 行美
3代会長	平成30年 4月～令和 5年 3月	小林 賢一
4代会長	令和 5年 4月～現在	永井 泰昭

令和7年度役員

会 長	永井泰昭	顧 問	小林賢一
副 会 長	吉澤正春	理 事	藤田廣忠
事 務 局	高木姫代子	理 事	箱石拓也
会 計	藤田廣忠	県 理 事	高木行美
会計監査	江成英子		



愛川町ターゲット・バードゴルフ協会

協会のあゆみと主な活動

ターゲット・バードゴルフ（以下TBGと略す）は樹脂製のゴルフボールに羽根を取り付け、ゴルフと同じように18ホールを回り、その打数を競うスポーツです。

昭和44年に埼玉県で生まれ生涯スポーツとして、現在では全国的な広がりを見せています。

我が協会は、平成5年4月に43名の会員で発足し、令和5年5月に創立30周年を迎える事が出来ました。一時は90名を超える会員がいましたが、令和7年現在では53名の会員で、平均年齢は77才を超える組織となっております。スローガンは「いい汗・いい仲間・ずっと青春」を掲げて仲間意識を持ちながら進めてきています。

私たちは、協会発足以来「神奈川県TBG協会」に加入し、県協会の各種競技に参加してきました。また、関東甲信越ブロック大会や全国大会にも参加しています。

平成8年からTBG教室を開始し、年6回実施、現在も継続しており、初心者には指導員が付いてルールやマナー等を指導しています。

また、平成17年から町長杯コンペを開始し、会員以外の町民との交流で町民にTBGの広がりを推進しています。

平成23年から近隣の厚木市TBG協会と交流大会を開始し、その後座間市TBG協会を加え、定期的にお互いのコースで実施し、交流を継続しています。

今後の抱負と課題

平均年齢77才を超える高齢者組織となった今、TBGを仲間とプレーし、楽しく会話をす

ることが、健康寿命を延ばす秘訣と思います。

70代～80代の会員が多い中で、多くの仲間と接し、新たな仲間と繋がっていく生涯スポーツとして継続していきたいものです。

今後の課題としては、新規会員の確保・指導者の育成・組織体制の充実等です。会員数減少傾向の中で難しい事ですが、英知を結集して取り組んでいかなければなりません。

施設面では、現在半原老人福祉センター（常設9ホール パー32）、坂本青少年広場（仮設18ホール パー72）、志田コース（9ホール パー36）のコースがあり、コースの草刈りを含め整備しながら、今後も継続していきたいと思っています。

TBGは生涯スポーツとして健康づくりの面がありますが、競技性の面で会員達のレベルアップを図ることも大切な事です。その観点から研修会や各種コンペを実施し、仲間づくりと共に資質向上に取り組んでいます。

現在の活動状況

1. 自主活動

- ①年間32回の全員による定例会(坂本さくら・半原かわせみ・志田・小沢使用)
- ②年間9回の各種コンペを実施
- ③年6回のTBG教室（各コース使用）
- ④指導者養成を兼ねた研修会
- ⑤近隣地区との交流会

2. 町及び他団体への協力

- ①町スポレク及びふれあいの村紅葉まつり等の体験指導

3. 県及び近隣協会活動への参加

- ①県協会の各種競技大会
- ②相模原市・厚木市等の交流会



2024年TBG教室 志田コースにて



2024年TBG教室 坂本さくらコースにて



TBG教室で新人にホールインの指導



2025年新春ふれあいコンペ 志田コースにて

愛川町TBG協会歴代会長・副会長

年度	H5~11年	H12~14年	H15~18年	H19~20年	H21~22年	H23年	H24年	H25~27年	H28~R1	R2~R5	R5~R7
会長	藤本 敏夫	別府 照久	別府 照久	別府 照久	別府 照久	別府 照久	別府 照久	佐藤 憲司	佐藤 憲司	佐藤 憲司	佐藤 憲司
副会長	別府 照久	内野 清司	内野 清司	亀田 肇	亀田 肇	大久保正夫	佐藤 憲司	別府 和子	別府 和子	別府 和子	内山 賢司
		田島 典三		大久保正夫	大久保正夫	渡辺 信世	別府 和子	横澤 晟	横澤 晟	横澤 晟	飯野 臣晃
					渡辺 信世		横澤 晟	平澤 眞爾	平澤 眞爾	内山 賢司	安田美津雄

愛川町ソフトバレーボール連盟

愛川町スポーツ協会の設立50周年、誠にありがとうございます。長きにわたり、地域スポーツの発展に尽力されてきた関係者の皆様に、心より敬意を表します。

愛川町は「町民みなスポーツの町」という標語を掲げ、誰もが生涯にわたりスポーツを楽しめる環境づくりを推進しています。その理念のもと、愛川町スポーツ協会はさまざまな競技団体を支援し、町民が健康で充実した生活を送るための基盤を築いてこられました。なかでも、あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバルは、多くの町民がスポーツに親しむ貴重な機会となっており、その意義は計り知れません。また北極探検家・萩田泰永氏の講演など、こうした取り組みを継続してくださる愛川町の皆様に、深く感謝申し上げます。

ソフトバレーボール連盟の紹介

私たち愛川町ソフトバレーボール連盟も、スポーツ協会の支援を受けながら、競技の普及と技術向上に努めてまいりました。本連盟は、ソフトバレーボールの楽しさを広めることを目的に設立され、現在では13団体が活動しています。ソフトバレーボールは、柔らかいボールを使用し、運動負荷が比較的に軽いいため、若年層から高齢者まで、誰もが楽しめる「生涯スポーツ」です。この点は、「町民みなスポーツ宣言」を掲げる愛川町の理念とも深く結びついており、私たちの活動もまた、その実現に貢献していると感じております。

本連盟の主な活動としては、定期的なリーグ戦の開催、町民大会の実施、そして近隣地域との交流試合などがあります。これらの大会は、競技の魅力を広めるだけでなく、町民の健康促進や地域のつながりを深める場にも

なっています。また、近年では近隣のソフトバレーボール団体とも積極的に連携し、競技レベルの向上を目指して審判講習会を開催しております。この講習会を通じて、公式ルールを理解を深めるとともに、選手・指導者の技術向上を図る機会となっています。

さらに、本連盟には競技レベルの高いチームも多く、厚木市や県外で開催される大会にも積極的に参加し、好成績を収めています。これにより、愛川町のソフトバレーボールの存在感を高めるとともに、町外のチームとの交流を深める機会にもつながっています。今後も技術向上を図り、より多くの大会で活躍できるよう努力を重ねていきます。

また、町外のチームとの交流や広報活動にも力を入れており、愛川町の魅力発信を含めた取り組みを強化しています。大会やイベント情報を積極的に発信することで、町外からの参加者を増やし、競技の活性化を図るとともに、愛川町のスポーツ環境の素晴らしさをより多くの方に知っていただくことを目指しています。ソフトバレーボールを通じて町を訪れる人々が増え、地域の活性化につながることを期待しています。

これまで、菊地原賢一氏、中里豪介氏と歴代の理事長がそれぞれの時代においてソフトバレーボールの発展に尽力されてきました。こうした先人の努力によって築かれた基盤をさらに発展させ、より多くの町民が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに貢献していきたいと考えております。

今後の展望としては、より幅広い世代への普及を目指し、初心者向けの講習会や世代を超えた交流大会を実施していく予定です。また、競技力の向上を図るための指導者育成にも力を入れ、愛川町から全国各地での大会で活躍するような選手の育成にも取り組んでい

きます。他競技団体との連携も進めながら、スポーツを通じた地域活性化の一翼を担っていきたいと考えております。

最後になりますが、愛川町スポーツ協会の50周年という節目を迎えられたことを、改めてお祝い申し上げます。長年にわたるご尽力に心から感謝するとともに、今後のさらなる発展をお祈りいたします。

私たち愛川町ソフトバレーボール連盟も、スポーツ協会とともに歩みを進め、地域ス

ポーツの発展に貢献できるよう努めてまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

【歴代理事長】

平成 7年 4月～平成 9年 3月	中野 繁
平成 9年 4月～平成13年 3月	山内 義一
平成13年 4月～平成25年 3月	菊地原 賢一
平成25年 4月～令和 2年 3月	中里 豪介
令和 2年 4月～現在	尾園 征志



2025年7月27日(日)町総合体育大会 (第1号公園体育館)

愛川町柔道協会

柔道協会の紹介

愛川町柔道協会は、これまで多くの方々のご協力があり活動開始から14年を迎えることができました。柔道協会では加納治五郎先生の『精力善用・自他共栄』の精神をもとに豊かな心、逞しい精神力、自国の文化と伝統を象徴する態度などを基本精神として、人一倍稽古に励み受け身を中心に自他共に繁栄する精神を養うため日々練習を重ねています。

また、毎年1月に少年柔道大会を開催しており、県内外から多くの参加者を招き大会を通じ交流と親睦を深めています。

今後の抱負

愛川町柔道協会は、子ども、大人関係なく全年齢の方々に柔道の楽しさを伝えるため様々な活動をしていきたいと考えています。柔道を通じ年齢の壁を超えたコミュニケーションを図れる場を提供し、地域貢献できる団体を目指していきたいと考えています。

これから先、新たな飛躍と成長を願い、会員各位のご協力のもと、共に歩んでまいりたいと思います。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

【歴代理事長】

平成24年 4月～平成29年 3月	小澤 昭彦
平成29年 4月～令和 5年11月	岩下 竜一
令和 5年11月～現在	城間 勤





東京オリンピック柔道90kg以下級日本代表 向 翔一郎選手と集合写真



相模原市で開催された合同練習会集合写真



座間市で開催されたわんぱく相撲座間場所出場選手の写真

愛川町グラウンド・ゴルフ協会

グラウンド・ゴルフの歴史

グラウンド・ゴルフは、今から43年前（昭和57年）に鳥取県の小さな泊村（とまりむら）が発祥地です。村の高齢化対策として、当時の文部省はじめ大学教授や地元の教育委員会が中心となって、国の生涯スポーツ推進事業の一環として開発されました。

歴史としては新しいスポーツです。

愛川町ではまだマイナーなスポーツですが、「だれでも」「どこでも」「だれとでも」気軽に楽しめる簡単なスポーツとして普及し、全国では300万人以上の愛好者がいると言われています。

グラウンド・ゴルフの全国組織として「日本グラウンド・ゴルフ協会」があり、下部組織として各道府県に「グラウンド・ゴルフ協会」があります。

神奈川県には「神奈川県グラウンド・ゴルフ協会」があり、愛川町グラウンド・ゴルフ協会は上記両方の協会に加入しています。

愛川町グラウンド・ゴルフ協会の紹介

愛川町のグラウンド・ゴルフは、平成12年5月（2000年5月）に熊坂實氏が数人の仲間と立ち上げられました。仲間の増加に伴い、平成16年5月（2004年5月）に愛川町グラウンド・ゴルフ協会を設立しました。ことして21年になります。

設立当時は、18名位で中津小学校のグラウンドで楽しんでいましたが、一時40名を超えることもありましたが、現在は38名です。新規加入者も増えてきましたが、逆に高齢化や健康の理由で退会された方もおり、総数は近年大きな変化はありません。

主な活動

練習場所は、小沢の相模川河川敷と中津小学校グラウンドが主な会場ですが、厚木市グラウンド・ゴルフ協会と交流を深め、厚木市の及川球技場、南毛利スポーツ広場、防災の丘公園など活動範囲を広めています。

また、近隣のグラウンド・ゴルフ協会主催（横浜、厚木、伊勢原、大和、綾瀬、相模原、他）の大会やブロック大会（相模原、伊勢原、厚木、愛川）にも積極的に参加し、入賞者が沢山出ています。

さらに神奈川県での大会では、上位入賞者が増加し、関東大会や全国大会に神奈川県代表として多くの会員が参加しています。

・グラウンド・ゴルフの普及活動

グラウンド・ゴルフを町民に普及させるために、広報でPRし「グラウンド・ゴルフ教室」を毎年数回行っており、新しい会員の加入に繋がっています。

・指導員の資格取得

日本グラウンド・ゴルフ協会認定の資格を取得し、グラウンド・ゴルフの楽しさとレベル向上目指して会員に指導しています。（資格者は現在6名）

・愛川大会

毎年数回、グラウンド・ゴルフ大会を行っています。入賞者には、スポーツ協会会長の表彰状を贈呈し祝福しています。さらに参加者が楽しめるように多くの賞品を用意して、和気あいあいと楽しんでいます。

・愛川町スポーツ協会に加入

令和5年5月愛川町スポーツ協会に加入させていただきました。

令和6年10月の「2024あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」に参加

し180名を越す来場者があり好評でした。

・ふれあい広場に参加

愛川町社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」に毎回参加して町民と楽しく親睦を深めています。

今後の抱負と課題

グラウンド・ゴルフの大きな特徴は、審査員がないことです。全て自分の責任において判断します。それだけに公正な判断が求められますので、グラウンド・ゴルフ協会は次のモットーを掲げ活動しています。

「1打や2打にこだわらず、ルール・マナー・エチケットを守って皆で楽しく！」

です。これからも、このモットーを継続し、

チームワークの取れた笑顔あふれる協会として生涯スポーツを楽しんでいきたい。

さらに、愛川町でもメジャーなスポーツになるようにグラウンド・ゴルフを普及させて、グラウンド・ゴルフ場の専用広場の新設を目指したい。

だが、会員の年齢が高齢化により、運転免許証の返納などで会場への足の確保が困難になっており、若い会員の加入促進が大きな課題です。

【会 長】

設立時～現在 野口 富士男

【副会長】

現在 荒井 寿夫、林 つた子



創立20周年記念パーティーにて (2024年5月)



グラウンド・ゴルフ大会 (2003年3月)
(中津小学校グラウンド)



グラウンド・ゴルフ教室の風景 (1号公園)



大会風景 (中津小学校グラウンド)

愛川町スポーツ協会表彰受賞者

昭和63年度

愛川中原中学校剣道部
倉谷志乃武
巴篤子

平成元年度

来住野研
佐々木俊和
堂原修

平成2年度

高橋未音子
林修一
冬川直人
山崎公子

平成3年度

石神幸
カルソニック榎厚木工場
渡辺友巳

平成4年度

木村克己
中林麻子

平成5年度

平川照正
斉藤さくら

平成6年度

佐々木ミヤ子
桜井叶希
渡辺友己
来住野研
田村真人

平成7年度

須田剛
島津保
笠井克明
野村雅昭
錦野こずえ
永田和子
伊藤友子

平成8年度

田辺進
大内和哉
富成伸太郎
依田隆裕
株式会社野フリス製作所 所長 難波捷郎

平成9年度

望月正文
平本明敏
原田高法
田村真人

平成10年度

渡部健太
齋藤朋寛
萩原梨咲

平成11年度

堂原修
濱口弘正
愛川高校ボート部

平成12年度

板原浩
野澤信弘
愛川中学校女子バレーボール部
レオスイミングスクール愛川校

平成13年度

土館正明
小林松太
平田みどり

平成14年度

村山邦彦

平成15年度

野口喜己夫
高木行美
松野吉成
田村直治

平成16年度

茅茂
佐藤澄恵
高橋淳子
坂下泰子

平成17年度

吉岡則天
深澤善司
深澤一樹
三枝角太郎
坂下里士

平成18年度

本山秀次

平成19年度

内野清司
近藤恵代
山田修明
熊坂道明

平成20年度

浅井勢津子
佐川育子
小澤若奈
渡邊守子
小賀毅

平成21年度

伊従喜久雄

平成22年度

中村賢
滝澤新子
増本文子
吉岡去私
伊藤義隆

平成23年度

田村直治
亀田肇
沢田孝道
猪熊教夫
梅澤士郎

平成24年度

高木姫代子
関裕之
梅澤幸司

平成25年度

竹松たか子
関根ヨシイ
鎌田光明守
平山和马

平成26年度

辰口桂子
大久保正夫
渡辺信世彦
鈴木義彦

平成27年度

別府和子
佐藤長義
星野昭吉
松野吉成
日高克浩

平成28年度

伊藤 養司 ゲートボール
 深澤 善司 ペタンク
 熊坂 明美 ペタンク
 森 清志 剣道
 林 杏美 剣道
 岸田 耕平 柔道
 島田 ゆうぞう 柔道
 デーハン ファラ 柔道
 愛 柔 会 柔道

平成29年度

柏木 正好 サッカー
 西口 輝美 陸上
 岡山 善星 柔道

平成30年度

会田 吉夫 剣道
 梶谷 光夫 ソフトボール
 熊坂 国男 ソフトボール
 岩崎 祐也 サッカー
 加賀見 雅大 サッカー
 小林 賢一 ペタンク
 山越 大地 柔道
 愛 柔 会 柔道

令和元年度

中瀬 洋子 レクリエーション
 京田 志郎 ソフトボール
 小島 総一郎 ゴルフ
 村田 勇雄 ゲートボール
 牧野 尚弘 ゲートボール
 小倉 忠夫 野球
 熊坂 瑠以 剣道
 渡部 倫太郎 剣道
 愛 柔 会 柔道

令和2年度

山崎 潤一 サッカー
 茂野 キクエ スキー
 齊藤 正子 ゲートボール
 三田 一男 ゲートボール
 佐藤 一憲 ターゲット・バードゴルフ
 横澤 司 晟 ターゲット・バードゴルフ
 原 明 山岳
 栗 穰 柔道

令和3年度

天野 利明 ソフトボール
 竹松 たか子 レクリエーション
 山口 重信 ソフトテニス
 田部 井康子 ソフトテニス
 内野 憲子 ソフトボール
 大野 誠治 ソフトボール
 篠原 玲子 ゲートボール
 川田 由夫 ゲートボール
 小野寺 綾子 ターゲット・バードゴルフ
 岩下 太郎 柔道

令和4年度

清田 洋二 ソフトボール
 小林 由季 サッカー
 齋藤 伴平 サッカー
 小野澤 茂和 ゲートボール
 上村 正真 ターゲット・バードゴルフ
 小林 眞 剣道

令和5年度

片桐 弘充 サッカー
 村田 金子 ゲートボール
 越野 實 剣道
 神藤 瞳 柔道

令和6年度

山本 有一郎 サッカー
 小林 大維我 剣道
 小林 奈杏 剣道
 佐藤 菜月 剣道
 菲沢 蓮叶 剣道
 小林 珠緒 剣道
 愛川 剣道教室 剣道

令和7年度

浜松 博 ソフトボール
 萱 則行 サッカー
 藤原 恒蓮 ゲートボール
 菲沢 果林 剣道
 岩佐 鉄平 剣道
 渡部 藤菜月 剣道
 佐藤 林真 剣道
 小佐 藤大 剣道
 西 下 智 寿 剣道
 渡部 倫太郎 剣道
 渡部 健 太 剣道
 愛川 剣道教室 剣道

愛川町教育委員会表彰受賞者

愛川町教育委員会表彰受賞者

昭和53年度	小島哲雄 柳川政利	野大成	昭和63年度	口成井	十四男	佐大堀	藤貫邊	進重夫	平成14年度	家城博昭 井上田昭	影花梅江	山峯澤川	史爽健太郎	貴舞詩郎
昭和54年度	市川武雄 伊從晴雄	昭和63年度	山田英雄	成井久寿史	男	平成6年度	三平正春	厚徹司	平成15年度	浦本征夫 池田建兒	木部力也	村木大将	智太空	也智太空
昭和55年度	斎藤誠二	岡吉志	岡賀安男	志々木上野夫	道夫	小柴小錦半小加	野谷倉藤	久敬周一郎	平成16年度	邨松孝博	鈴藤相伊牟	原田木橋	伯	真泰優彩
昭和56年度	新井昭平 河内安正	佐々木上野好	平成元年度	千森永雅	浩文範	渡邊中田崎村屋	友功ト吉公昌	巳治シ弘男晟文厚	平成17年度	青木清美 井上桂	青高坂林森愛菅原	青高坂林森愛菅原	真泰優彩	柔劍士
昭和57年度	島村安宣 熊坂藤一忠富士郎	千森永雅	平成2年度	荻安土林深後吉近石	田藤屋澤藤住藤井	清水田部木吉福遠中	田典秀正	喜幸孝勇	平成18年度	坂石中平今	別網梅高岡倉落熊長谷森愛	府島澤橋橋本合澤川平	熙通眞紀美	久男美江波博治結里月紀会
昭和58年度	甘利芳道 和齋隆菊紀正	荻安土林深後吉近石	平成3年度	蘭牟遠北前	田藤屋澤藤住藤井	高壹	田典秀正	喜幸孝勇	平成19年度	古座野島中德平	高岡倉落熊長谷森愛	府島澤橋橋本合澤川平	熙通眞紀美	久男美江波博治結里月紀会
昭和59年度	平上小原三神志柳	蘭牟遠北前	平成4年度	中鈴大佐々榎平野鈴齋大北	島木矢木本本村木藤野村	高壹	田典秀正	喜幸孝勇	平成20年度	原内高倉大	齋大岡中板池金高相近鈴富	府島澤橋橋本合澤川平	熙通眞紀美	久男美江波博治結里月紀会
昭和60年度	川北区	蘭牟遠北前	平成5年度	中鈴大佐々榎平野鈴齋大北	島木矢木本本村木藤野村	高壹	田典秀正	喜幸孝勇	平成21年度	野口喜巳夫 坂下泰子	齋大岡中板池金高相近鈴富	府島澤橋橋本合澤川平	熙通眞紀美	久男美江波博治結里月紀会
昭和61年度	足立原昭威夫 山路藤勇憲	蘭牟遠北前	平成5年度	中鈴大佐々榎平野鈴齋大北	島木矢木本本村木藤野村	高壹	田典秀正	喜幸孝勇	平成22年度	久保田近藤地吉近	齋大岡中板池金高相近鈴富	府島澤橋橋本合澤川平	熙通眞紀美	久男美江波博治結里月紀会
昭和62年度	落岡神中平小五十	蘭牟遠北前	平成5年度	中鈴大佐々榎平野鈴齋大北	島木矢木本本村木藤野村	高壹	田典秀正	喜幸孝勇	平成23年度	熊加根高菅石	齋大岡中板池金高相近鈴富	府島澤橋橋本合澤川平	熙通眞紀美	久男美江波博治結里月紀会
		蘭牟遠北前	平成5年度	中鈴大佐々榎平野鈴齋大北	島木矢木本本村木藤野村	高壹	田典秀正	喜幸孝勇	平成24年度	熊加根高菅石	齋大岡中板池金高相近鈴富	府島澤橋橋本合澤川平	熙通眞紀美	久男美江波博治結里月紀会

愛川町スポーツ協会歴代役員名簿

昭和51年～53年

会 長	吉 川 好 夫 (陸上競技協会)
副 会 長	河 内 安 正 (野球協会)
〃	島 村 泰 宣 (卓球協会)
書 記	上 川 旬 (バドミントン協会)
会 計	小 島 新 作 (バレーボール協会)

昭和53年～55年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	河 内 安 正 (野球協会)
常任理事	小 島 新 作 (バレーボール協会)
〃	平 川 嘉 則 (陸上競技協会)
〃	嘉 喜 治 彦 ((硬) テニス協会)
〃	大 貫 邦 重 (卓球協会)
書 記	鎌 田 正 芳 (軟式庭球協会)
会 計	三 好 正 秋 (バスケットボール協会)

昭和55年～57年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	小 島 新 作 (バレーボール協会)
常任理事	平 川 嘉 則 (陸上競技協会)
〃	河 内 安 正 (野球協会)
〃	原 法 雄 (バドミントン協会)
〃	三 好 正 秋 (バスケットボール協会)
書 記	中 島 清 美 (レクリエーション協会)
会 計	古座野 義 夫 (剣友会)

昭和57年～59年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	小 島 新 作 (バレーボール協会)
常任理事	平 川 嘉 則 (サッカー協会)
〃	原 法 雄 (バドミントン協会)
〃	三 好 正 秋 (バスケットボール協会)
〃	河 内 安 正 (野球協会)
書 記	中 島 清 美 (レクリエーション協会)
会 計	安 富 憲 男 (卓球協会)

昭和59年～61年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	小 島 新 作 (バレーボール協会)
常任理事	平 川 嘉 則 (サッカー協会)
〃	三 好 正 秋 (バスケットボール協会)
〃	原 法 雄 (バドミントン協会)
〃	安 富 憲 男 (卓球協会)
書 記	齋 藤 隆 夫 (野球協会)
会 計	中 島 清 美 (レクリエーション協会)

昭和61年～63年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	小 島 新 作 (バレーボール協会)
常任理事	平 川 嘉 則 (サッカー協会)
〃	三 好 正 秋 (バスケットボール協会)
〃	原 法 雄 (バドミントン協会)
〃	安 富 憲 男 (卓球協会)
書 記	北 山 清 造 (陸上競技協会)
会 計	中 島 清 美 (レクリエーション協会)

昭和63年～平成2年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	三 好 正 秋 (バスケットボール協会)
常任理事	平 川 嘉 則 (サッカー協会)
〃	原 法 雄 (バドミントン協会)
〃	安 富 憲 男 (卓球協会)
〃	中 島 清 美 (レクリエーション協会)
書 記	山 口 徳 治 (バレーボール協会)
会 計	坂 井 孝 充 (テニス協会)

平成2年～4年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	三 好 正 秋 (バスケットボール協会)
常任理事	平 川 嘉 則 (サッカー協会)
〃	原 法 雄 (バドミントン協会)
〃	安 富 憲 男 (卓球協会)
〃	山 口 徳 治 (ゴルフ協会)
書 記	徳 永 勝 範 (剣友会)
会 計	倉 谷 弘 (柔道協会)

平成4年～6年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	三 好 正 秋 (バスケットボール協会)
常任理事	安 富 憲 男 (卓球協会)
〃	山 口 徳 治 (ゴルフ協会)
〃	徳 永 勝 範 (剣友会)
〃	小 島 菊 治 (バレーボール協会)
書 記	倉 谷 弘 (柔道協会)
会 計	神 田 政 晴 (水泳協会)

平成6年～8年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	山 口 徳 治 (ゴルフ協会)
常任理事	小 島 菊 治 (バレーボール協会)
〃	安 田 吉 弘 (サッカー協会)
〃	福 岡 孝 幸 (剣友会)
〃	小 島 一 成 (陸上競技協会)
書 記	半 谷 周一郎 (野球協会)
会 計	菊 池 正 巳 (バドミントン協会)

平成8年～10年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	山 口 徳 治 (ゴルフ協会)
常任理事	小 島 菊 治 (バレーボール協会)
〃	安 田 吉 弘 (サッカー協会)
〃	福 岡 孝 幸 (剣友会)
〃	小 島 一 成 (陸上競技協会)
書 記	半 谷 周一郎 (野球協会)
会 計	菊 池 正 巳 (バドミントン協会)

平成10年～12年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	山 口 徳 治 (ゴルフ協会)
常任理事	小 島 菊 治 (バレーボール協会)
〃	安 田 吉 弘 (サッカー協会)
〃	福 岡 孝 幸 (剣友会)
〃	小 島 一 成 (陸上競技協会)
書 記	半 谷 周一郎 (野球協会)
会 計	菊 池 正 巳 (バドミントン協会)

平成12年～14年

会 長	相 馬 晴 義 (愛川町長)
理 事 長	半 谷 周一郎 (野球協会)
常任理事	安 田 吉 弘 (サッカー協会)
〃	福 岡 孝 幸 (剣道協会)
〃	菊 池 正 巳 (バドミントン協会)
〃	大 成 行 正 (バレーボール協会)
書 記	綱 島 通 男 (テニス協会)
会 計	高 木 行 美 (ペタンク協会)

平成14年～16年

会 長	半 谷 周一郎 (野球協会)
理 事 長	大 成 行 正 (バレーボール協会)
常任理事	山 口 秀 雄 (陸上競技協会)
〃	五十嵐 豊 (卓球協会)
〃	綱 島 通 男 (テニス協会)
〃	高 木 行 美 (ペタンク協会)
書 記	門 脇 良 宣 (ソフトテニス協会)
会 計	吉 岡 則 天 (スキー協会)

平成16年～18年

会 長	半 谷 周一郎 (野球協会)
理 事 長	大 成 行 正 (バレーボール協会)
常任理事	五十嵐 豊 (卓球協会)
〃	綱 島 通 男 (テニス協会)
〃	高 木 行 美 (ペタンク協会)
〃	吉 岡 則 天 (スキー協会)
書 記	久保田 弘 (ソフトボール協会)
会 計	菊地原 賢 一 (ソフトバレーボール連盟)

平成18年～20年

会 長	半 谷 周一郎 (野球協会)
理 事 長	大 成 行 正 (バレーボール協会)
常任理事	五十嵐 豊 (卓球協会)
〃	綱 島 通 男 (テニス協会)
〃	高 木 行 美 (ペタンク協会)
〃	吉 岡 則 天 (スキー協会)
書 記	久保田 弘 (ソフトボール協会)
会 計	菊地原 賢 一 (ソフトバレーボール連盟)

平成20年～22年

会 長	半 谷 周一郎 (野球協会)
理 事 長	大 成 行 正 (バレーボール協会)
常任理事	高 木 行 美 (ペタンク協会)
〃	土 屋 修 一 (剣道協会)
〃	堀 澤 誠 司 (ソフトテニス協会)
〃	近 藤 恵 代 (レクリエーション協会)
書 記	齋 藤 増 雄 (サッカー協会)
会 計	浅 井 勢津子 (ゲートボール協会)

平成22年～24年

会 長	大 成 行 正 (バレーボール協会)
理 事 長	齋 藤 増 雄 (サッカー協会)
常任理事	高 木 行 美 (ペタンク協会)
〃	綱 島 通 男 (テニス協会)
〃	榎 本 照 夫 (ソフトボール協会)
〃	近 藤 恵 代 (レクリエーション協会)
書 記	佐々木 利 道 (ソフトバレーボール協会)
会 計	野 崎 公 男 (バドミントン協会)

平成24年～26年

会 長	大 成 行 正 (バレーボール協会)
理 事 長	齋 藤 増 雄 (サッカー協会)
常任理事	榎 本 照 夫 (ソフトボール協会)
〃	野 崎 公 男 (バドミントン協会)
〃	港 正 夫 (卓球協会)
〃	小 島 総一郎 (ゴルフ協会)
書 記	別 府 和 子 (ターゲット・バードゴルフ協会)
会 計	三 好 寿 貴 (バスケットボール協会)

平成26年～28年

会 長	齋 藤 増 雄 (サッカー協会)
理 事 長	榎 本 照 夫 (ソフトボール協会)
常任理事	港 正 夫 (卓球協会)
〃	小 島 総一郎 (ゴルフ協会)
〃	別 府 和 子 (ターゲット・バードゴルフ協会)
〃	三 好 寿 貴 (バスケットボール協会)
書 記	森 雅 文 (陸上競技協会)
会 計	吉 岡 去 私 (スキー協会)

平成28年～30年

会 長	齋 藤 増 雄 (サッカー協会)
理 事 長	榎 本 照 夫 (ソフトボール協会)
常任理事	別 府 和 子 (ターゲット・バードゴルフ協会)
〃	三 好 寿 貴 (バスケットボール協会)
〃	森 雅 文 (陸上競技協会)
〃	吉 岡 去 私 (スキー協会)
書 記	甘 利 龍 二 (山岳協会)
会 計	岩 下 竜 一 (柔道協会)

平成30年～令和2年

会 長	榎 本 照 夫 (ソフトボール協会)
理 事 長	森 雅 文 (陸上競技協会)
常任理事	吉 岡 去 私 (スキー協会)
〃	甘 利 龍 二 (山岳協会)
〃	岩 下 竜 一 (柔道協会)
〃	古座野 君 夫 (野球協会)
書 記	会 田 吉 夫 (剣道協会)
会 計	板 橋 康 史 (水泳協会)

令和2年～4年

会 長	古座野 君 夫 (野球協会)
理 事 長	甘 利 龍 二 (山岳協会)
常任理事	吉 岡 去 私 (スキー協会)
〃	岩 下 竜 一 (柔道協会)
〃	会 田 吉 夫 (剣道協会)
〃	板 橋 康 史 (水泳協会)
書 記	近 藤 史 朗 (ソフトテニス協会)
会 計	山 内 寛 一 (ゲートボール協会)

令和4年～6年

会 長	古座野 君 夫 (野球協会)
理 事 長	吉 岡 去 私 (スキー協会)
常任理事	岩 下 竜 一 (柔道協会)
〃	板 橋 康 史 (水泳協会)
〃	近 藤 史 朗 (ソフトテニス協会)
〃	山 内 寛 一 (ゲートボール協会)
書 記	渡 部 亮 一 (剣道協会)
会 計	綱 島 通 男 (テニス協会)

愛川町スポーツ協会役員名簿

(令和6年4月1日～令和8年3月31日)

令和7年11月1日現在

職名	氏名	所属
会長	古座野 君 夫	野球協会
理事長	吉 岡 去 私	スキー協会
常任理事	板 橋 康 史	水泳協会
//	山 内 寛 一	ゲートボール協会
//	綱 島 通 男	テニス協会
//	井 上 桂	レクリエーション協会
書記	高 木 行 美	ペタンク協会
会計	尾 園 征 志	ソフトバレーボール連盟
理事	鈴 木 行 夫	陸上競技協会
//	小 倉 忠 夫	野球協会
//	高 橋 あさよ	バレーボール協会
//	佐 藤 京 子	剣道協会
//	塩 入 翼	卓球協会
//	白 居 肇	ソフトテニス協会
//	中 島 清 美	レクリエーション協会
//	四 宮 喜 平	バドミントン協会
//	松 井 茂	テニス協会
//	櫻 井 広 司	バスケットボール協会
//	清 田 洋 二	ソフトボール協会
//	平 本 明 敏	サッカー協会
//	谷 島 花	水泳協会
//	吉 岡 則 天	スキー協会
//	吉 川 裕 治	ゴルフ協会
//	三 田 一 男	ゲートボール協会
//	永 井 泰 昭	ペタンク協会
//	佐 藤 憲 司	ターゲット・バードゴルフ協会
//	高 木 英 人	ソフトバレーボール連盟
//	城 間 勤	柔道協会
//	野 口 富士男	グラウンド・ゴルフ協会
監 事	渡 部 亮 一	剣道協会
//	渡 辺 友 巳	陸上競技協会
顧 問	齋 藤 増 雄	
//	榎 本 照 夫	

愛川町スポーツ協会規約

第1章 名称及び事務所

第1条 本会は、愛川町スポーツ協会と称する。

第2条 本会は、事務所を愛川町教育委員会内に置く。

第2章 目的及び事業

第3条 本会は、愛川町内のスポーツ団体、並びにスポーツ愛好者相互の連絡強調を図ると共に、スポーツ活動を普及して町民の体力向上と健全なる精神を養うことを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1 町民の体力に関する方策の調査研究
- 2 町内スポーツ団体の強化育成と相互の連絡強調
- 3 各種スポーツ大会及び講習会等の開催
- 4 スポーツに関する資料の調査研究
- 5 スポーツ活動の宣伝啓発及び指導奨励
- 6 その他、本会の目的達成に必要な事業

第3章 組織

第5条 本会は、町内に所在するスポーツ団体をもって組織する。

第4章 加盟及び脱退

第6条 本会に加盟できる団体は、次のような団体とする。

- 1 政治的・宗教的な活動をしない団体
- 2 全町的な会員組織の団体
- 3 会員数が20名以上の団体
- 4 活動実績が6ヶ月以上の団体

第7条 本会に加盟しようとする種目団体は、その代表者により次の書類を提出し、総会の議をもって承認するものとする。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 加盟申込書 | 2 事務所所在地 |
| 3 規約 | 4 加盟組織団体一覧表 |
| 5 役員名簿 | 6 当該年度事業計画書 |
| 7 当該年度予算書 | 8 前年度事業報告書 |
| 9 前年度収支決算書 | |

第8条 本会に加盟しようとする種目団体が第6条、第7条各項の条件に満たない場合でも、その団体が町のスポーツ振興に貢献度が高いものであるときは、特例として総会の議をもって承認するものとする。

第9条 本会の脱退は次のとおりとする。

- 1 加盟団体が脱退しようとするときは、脱退届を会長あて提出し役員会の承認を受ける。
- 2 本会の加盟団体として不適当と役員会が認めるときは、脱退させることができる。ただし、総会で報告しなければならない。

第5章 役員

第10条 本会に次の役員を置く。

会 長	1名
理 事 長	1名
常任理事	4名
書 記	2名
会 計	2名
理 事	

- 2 前項に定めるもののほか、監事2名を置き顧問若干名を置くことができる。

第11条 理事は、各加盟団体から1名選出する。

- 2 会長、理事長、常任理事、書記及び会計は役員会で決定をした加盟団体の理事、または加盟団体から推薦を受けた者から選出をする。ただし、書記、会計のうち各1名は教育委員会職員をもってあてる。

3 前項により会長、理事長、常任理事、書記、会計が理事から選出された加盟団体は、さらに理事を選出するものとする。

4 監事は会長が任命する。

5 すべての役職において、兼務することはできない。

第12条 会長は、本会を総理代表し役員会の議長となる。

2 理事長は、会長を補佐し会長事故あるときは、その職務を代理する。

3 常任理事は、理事長を補佐し、啓発宣伝・施設拡充・強化育成・調査研究の委員会の会務を掌理代表し、委員会の議長となる。

4 書記は、本会の庶務を掌理する。

5 会計は、本会の経理を掌理する。

6 理事は、本会の会務を掌理する。

7 監事は、本会の会務・会計を監査する。

8 顧問は、重要事項につき会長の諮問に応ずる。

第13条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠役員任期は、前任者の残任期間とする。

第6章 会議

第14条 会議は、総会及び役員会とし、すべて会長がこれを招集する。

2 総会は、本会役員と加盟団体2名ずつの評議員をもって構成する。

3 総会は、年1回開かなければならない。ただし、必要があるときは臨時に開くことができる。

4 役員会は、会長、理事長、常任理事、書記、会計、理事をもって構成する。役員会は本会の執行機関である。

第15条 役員会は3分の1以上の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数の同意を得て決定する。

2 総会は、評議員の3分の1以上の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数の同意を得て決定する。ただし、規約変更に関するものは、評議員の3分の2以上の同意を得なければならない。

3 会議の構成員は、あらかじめ欠席が予測されるときは加盟団体等の代理人を出席させること。

第7章 会計

第16条 本会の経費は加盟団体の分担金その他の収入をもってあてる。

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第18条 本会の予算は毎会計年度開始前、役員会において作成し総会の承認を受ける。決算は、会計年度終了後監事の監査を経て総会の承認を受ける。

第8章 その他

第19条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 本規約は、昭和50年4月1日から施行する。
- 2 初年度の会計年度は、昭和51年3月31日とする。
- 3 初年度の役員任期は、昭和53年3月31日とする。
- 4 昭和53年5月17日 規約一部改正
- 5 平成14年5月23日 規約一部改正
- 6 平成18年5月25日 規約一部改正
- 7 平成20年5月26日 規約一部改正
- 8 令和3年5月24日 規約一部改正

町民みなスポーツの町宣言

わたくしたち愛川町民は、一人ひとりが生涯をとおしスポーツに親しみ、健康でたくましい心とからだをつくとともに、スポーツを通じて町民の交流を深め、活力ある明るい豊かな愛川町を築くことを誓い、次の目標をかかげて、ここに「町民みなスポーツの町」を宣言します。

- 1 わたくしたちは、生涯をとおしスポーツに親しみ、健康でたくましい心とからだをつくります。
- 1 わたくしたちは、スポーツを毎日のくらしの中にとりいれ、明るい家庭を築きます。
- 1 わたくしたちは、スポーツをとおしてたがいに交流し、友情の輪をひろげます。
- 1 わたくしたちは、スポーツをとおして規律ある生活態度を身につけ、活力ある町づくりを進めます。
- 1 わたくしたちは、スポーツをとおして人間愛を育て、広く世界の人びとと手をつなぎます。

平成元年4月8日制定

愛川町スポーツ協会 創立50周年記念誌

AIKAWA Sports Associations 50th Anniversary

2025年11月1日 発行

発行 愛川町スポーツ協会

印刷 株式会社日相印刷